

令和 9 年 度
(2027 年度)

学 生 募 集 要 項

(外国人留学生選抜)



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

令和 8 年 9 月

目 次

令和9年度外国人留学生選抜の主な変更点（概要）	3
1. アドミッション・ポリシー	6
2. 教職課程を必修とする学生の実習に係る犯罪事実確認制度について	20
3. 実施日程	21
4. 募集人員	22
5. 出願資格	23
6. 入学者選抜方法	25
7. 学力検査の出題範囲	28
8. 実技検査の内容	28
9. 出願手続	29
10. 障がい等のある入学志願者との事前相談	35
11. 長期履修制度	36
12. 受験票の印刷	36
13. 「日本留学試験」に関する問い合わせ先	36
14. 外国人留学生選抜に関する問い合わせ先	36
15. 試験日時・試験場	37
16. 試験会場までの交通機関	38
17. 受験に際しての注意事項	40
18. 不正行為について	41
19. 合格通知書の発送	42
20. 入学手続等	42
21. 学生寮に関するご案内	43
22. 個人情報の取扱	43
23. 安全保障輸出管理について	43
24. 入試情報の提供	
(1) 個人成績	43
(2) 採点・評価基準	45
(3) 合否判定基準	47
(4) 過去3年間の入試状況	49
(5) 過去5年間の合格者の日本留学試験の成績	50
25. パソコン必携制度のご案内	51
26. 出願書類作成上の注意事項	51

添 付 書 類 52～56 ページ

※実際の出願書類提出は、別途 HP に掲載している様式を使用してください。
<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/>

1. 日本留学試験チェックシート
【全志願者（ただし、情報データ科学部にあっては、A（一般枠）の志願者のみ）】
2. 推薦書
【情報データ科学部 B（推薦枠）の志願者のみ】
3. 志望理由書
【情報データ科学部 B（推薦枠）及び C（国際バカロレア枠）の志願者のみ】

長崎大学ホームページのトップ画面に表示されているチャットボットをご利用ください。入試に関する疑問や不安に、AI がわかりやすくお答えします。土日や夜間でも、いつでも利用できます。

【使い方】

知りたい内容をメニューから選ぶか、質問やキーワードを文字で入力してください。AI（人工知能）が自動で回答します。

長崎大学ホームページ

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/>



令和9年度外国人留学生選抜の主な変更点（概要）

【多文化社会学部】

出願資格の変更

外国人留学生選抜の出願資格を以下のとおり変更します。

(旧) 【多文化社会学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) 61 点以上、TOEIC L&R 730 点以上又は IELTS 5.5 以上のいずれかのスコアを有すること。

注 1) 略

2) 外国語検定試験は公式スコア (TOEFL iBT (Home Edition を含む。)) は Test Date スコアに限る。) を対象とし、TOEFL ITP 及び TOEIC IP は対象としない。

(新) 【多文化社会学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) 従来スコアの場合は 61 点以上、総合バンドスコアの場合は 3.5 以上、TOEIC L&R 730 点以上又は IELTS 5.5 以上のいずれかのスコアを有すること。

注 1) 略

2) 外国語検定試験は公式スコアに限る。なお、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) は Test Date スコアのみを対象とし、TOEIC IP 及び IELTS の One Skill Retake は対象としない。

【教育学部】

出願資格、選抜方法等の変更

外国人留学生選抜の出願資格を以下のとおり変更します。

(旧) 【教育学部 (小学校教育コース・幼児教育コース・特別支援教育コース)】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT 41 点以上 (Test Date スコアに限る。)、TOEIC L&R 400 点以上のいずれかのスコアを有すること (ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験に限る。)

【教育学部 (中学校教育コース 文系)】

入学後に専攻する希望教科として、出願時に「社会」又は「英語」を選択する者は、次の要件を満たすこと。

① 社会

上記の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT 41 点以上 (Test Date スコアに限る。)、TOEIC L&R 400 点以上のいずれかのスコアを有すること (ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験に限る。)

② 英語 略

(新) 【教育学部 (小学校教育コース・幼児教育コース・特別支援教育コース)】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を除く。) 従来スコアの場合は 41 点以上、総合バンドスコアの場合は 2.5 以上 (いずれも Test Date スコアに限る。) 又は TOEIC L&R 400 点以上のいずれかのスコアを有すること (ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験に限る。)

【教育学部 (中学校教育コース 文系)】

入学後に専攻する希望教科として、出願時に「社会」又は「英語」を選択する者は、次の要件を満たすこと。

① 社会

上記の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を除く。) 従来スコアの場合は 41 点以上、総合バンドスコアの場合は 2.5 以上 (いずれも Test Date スコアに限る。) 又は TOEIC L&R 400 点以上のいずれかのスコアを有すること (ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験に限る。)

② 英語 略

【経済学部】

出願資格の変更

外国人留学生選抜の出願資格を以下のとおり変更します。

(旧) 【経済学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT 39 点以上 (Test Date スコアに限る。) 又は TOEIC L&R 385 点以上を有すること (ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験に限る。)

(新) 【経済学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を除く。) 従来スコアの場合は 39 点以上、総合バンドスコアの場合は 2.5 以上 (いずれも Test Date スコアに限る。) 又は TOEIC L&R 385 点以上を有すること (ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験に限る。)

【医学部保健学科】

合否判定基準の変更

外国人留学生選抜の合否判定基準を次のとおり変更します。

(旧) 日本留学試験、学力検査 (外国語) 及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。

(新) (1) 日本留学試験、学力検査 (外国語) 及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。

(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。

① 学力検査 (外国語) の得点が上位の者

② 面接の得点が上位の者

【歯学部】

(1) 出願資格の変更

外国人留学生選抜の出願資格を次のとおり変更します。

(旧) 全学部共通の要件を満たし、かつ、日本留学試験の日本語 (聴解・聴読解、読解及び記述) 合計 360 点以上、基礎学力 (数学、理科 2 科目) 320 点以上の得点を有すること。

(新) 全学部共通の要件のみ

(2) 選抜方法等の変更

外国人留学生選抜における選抜方法等を次のとおり変更します。

<令和 8 年度>

日本留学試験において 指定する教科・科目等	本学の学力検査等	
	実施教科等	摘要
(略)	数学 } から 1 理科 } 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C〕、理科〔物理基礎、物理〕、化学基礎、化学、生物基礎、生物から1)、の2教科から出願時に1教科を選択すること。(2教科の受験可) ただし、理科を選択した場合は、物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物から出願時に1科目群を選択し届け出ること。 外国語〔英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ〕 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。



<令和 9 年度>

日本留学試験において 指定する教科・科目等	本学の学力検査等	
	実施教科等	摘要
(略)	数学 理科 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C〕、理科〔物理基礎、物理〕、化学基礎、化学、生物基礎、生物から1)、外国語〔英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ〕 理科は、物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物から出願時に1科目群を選択し届け出ること。 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。

(3) 個別学力検査等の配点の変更

外国人留学生選抜における学力検査等の配点を次のとおり変更します。

<令和8年度>

日本留学試験・学力検査等の配点等									
試験の区分	日本留学試験	学力検査等							配点合計
	(略)	(略)	外国語	数学	理科	(略)	面接	(略)	
日本留学試験	850								850
学力検査等			200	*200			段階評価		400



<令和9年度>

日本留学試験・学力検査等の配点等									
試験の区分	日本留学試験	学力検査等							配点合計
	(略)	(略)	外国語	数学	理科	(略)	面接	(略)	
日本留学試験	850								850
学力検査等			200	200	200		50		650

(4) 採点・評価基準の変更

外国人留学生選抜における採点・評価基準を次のとおり変更します。

- (旧) アドミッション・ポリシーに基づき、志望動機、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、協調性等を総合的に判断する。点数化せず、段階評価する。
- (新) アドミッション・ポリシーに基づき、志望動機、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、協調性等を総合的に判断する。評価は点数化する。

(5) 合否判定基準の変更

外国人留学生選抜の合否判定基準を次のとおり変更します。

- (旧) (1) 次のいずれかに該当する者は不合格とする。
 - (ア) 日本留学試験(850点)及び学力検査(400点)の総得点の得点率が80%未満の者
 - (イ) 面接は評価の高い順にA～Dの4段階評価とし、D評価となった者
- (2) 略
- (新) (1) 次のいずれかに該当する者は不合格とする。
 - (ア) 日本留学試験(850点)及び学力検査(600点)の総得点の得点率が80%未満の者
 - (イ) 面接の得点率が50%未満の者
- (2) 略
- (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

上記以外の入試の詳細は、本冊子の関係ページで確認してください。

1. アドミッション・ポリシー

〔全学共通のアドミッション・ポリシー〕

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ・ ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- ・ 日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- ・ 自ら考えようとする態度がある。
- ・ 自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- ・ 多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- ・ 国際社会，地域社会への関心を持っている。

本学では，これらの資質・素養を大学入学共通テスト，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行います。

〔多文化社会学部のアドミッション・ポリシー〕

多文化社会学部は、全学共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学部教育理念、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえて、入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- ・英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- ・世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- ・世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- ・自らの考えを整理し、表現するライティング能力（文章力）を有する。
- ・多様な人々と共生的な関係を築き、協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- ・世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	語学力(英語) (知識・技能) (思考力等)	批判的・論理的 思考力 (思考力等) (主体性等)	ライティング 能力 (知識・技能)	コミュニケーション・自己表現能力 (思考力等) (主体性等)	多文化状況への 興味・関心 (思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程 (4コース)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
		ペーパー・インタビュー					○	○
	前期日程 (オランダ)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
		面接		○	◎		○	◎
総合型選抜Ⅰ	一般枠 (4コース, オランダ)	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
	グローバル・国際バカロレア枠 (4コース)	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
学校推薦型選抜Ⅱ (4コース)		共通テスト	◎	○				
		推薦書	○	○			○	○
		志望理由書				◎	○	◎
		調査書	○	○			○	○
		面接		◎	◎		○	◎
帰国生徒選抜		提出書類	◎	○				
		面接	○	○	◎	○	○	◎
外国人留学生選抜		提出書類 (日本留学試験を含む)	◎	○				
		面接	○	○	◎	○	○	◎

【教育学部のアドミッション・ポリシー】

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・ 専門的な学修に必要な基礎的な論理的・批判的思考力や判断力、表現力がある。
- ・ 幼児・児童・生徒および保護者、同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- ・ 主体的に学修を継続し、発展させようとする意欲と態度がある。
- ・ 現代の教育課題への関心を持ち、教職を志望している。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

【小学校教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎			
		課題の提出物	◎	○		
		自己推薦書		○		◎
		諸活動の記録				○
		調査書	○			○
		面接		○	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎			
		小論文		◎		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		面接		○	◎	◎

【中学校教育コース 文系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		◎	○	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		個別学力検査	◎	◎		
		面接			◎	◎

【中学校教育コース 理系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断 力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接	○	○	○	○
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		個別学力検査	○	○		
		面接			○	○

【中学校教育コース 実技系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断 力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	◎	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		個別学力検査	◎	◎		
		面接			◎	◎

【幼児教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		◎	◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎			
		面接		○	◎	◎

【特別支援教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断 力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		小論文		◎		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		○	◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		面接		○	◎	◎

〔経済学部のアドミッション・ポリシー〕

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身についている。
- ・ 論理的思考力が身についている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・ 強い学習意欲，主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等	基礎的学力が身についている (知識・技能)	論理的思考力が身についている (思考力等)	コミュニケーション力が身についている (思考力等)	学習意欲，主体性や行動力がある (主体性等)
		(学力の3要素)				
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	○	
		個別学力検査	○	◎	◎	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト	◎	○	○	
		小論文	○	◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎	◎			
	自己推薦書		○		◎	
	調査書				○	
	面接 (プレゼンテーション型)		◎	◎	◎	
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	○	○	○		
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録			○	○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎	○		
	推薦書				○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
外国人留学生選抜	小論文	○	◎	○		
	英語外部試験	○		○		
	日本留学試験	◎		○		
	面接			○	○	

〔医学部（医学科）のアドミッション・ポリシー〕

医学科では入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・入学後の学修に必要な基礎学力を有している。

医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。

専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。

- ・医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナリズムを認知して、強い目的意識と高い志を持つ。また、その実践のために必要な思考力、判断力を有する。
- ・生命の尊厳を重んじ、高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
- ・チーム医療への貢献のために必要な協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップと強い責任感を有する。
- ・広く生命科学分野への探求心を有し、さらに、社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
- ・地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	読解力・表現力 (知識・技能) (思考力等)	コミュニケーション能力 (思考力等)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		調査書					○
		面接			◎		◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎		○	
		小論文 (学校推薦型選抜ⅡBのみ)	○	○	○	◎	○
		推薦書	○			○	○
		志望理由書				○	○
		調査書	○				○
		面接			◎		◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		面接			◎		◎

〔医学部（保健学科）のアドミッション・ポリシー〕

保健学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

1. 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
2. 対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力がある。

実習では患者さんやその家族との間に良好な信頼関係を構築する必要があることから、非言語的要素を含むコミュニケーション能力を重視します。そのため全ての入学試験に面接を課します。

3. 専門的な学修に必要な基礎的な論理的・批判的思考力や判断力、表現力がある。
4. 主体的に学修を継続する態度と意欲がある。
5. 基礎的な倫理性と、他者への共感性や協調性、リーダーシップを持つ。
6. 国際社会や地域社会における保健への関心がある。
7. 国際的な学術文献の講読に必要な基本的な英語読解力がある。

最新の科学的根拠を収集するために必要な英語読解力の基礎が養われていることを重視します。そのため前期日程と外国人留学生選抜では個別試験で英語、学校推薦型選抜Ⅱおよび社会人選抜では小論文で英語の問題を課します。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等	基礎学力	コミュニケーション能力	思考力・判断力・表現力	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心	英語読解力
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(思考力等) (主体性等)	(思考力等)	(思考力等) (主体性等)	(知識・技能) (思考力等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎		○		○
		個別学力検査			○		◎
		調査書				○	
		面接		◎		◎	
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎		○		○
		小論文			◎		○
		調査書	○			○	
		推薦書				○	
		志望理由書				○	
		面接		◎		◎	
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎				
		個別学力検査			○		◎
		面接		◎		◎	
社会人選抜		小論文			◎		○
		面接		◎		◎	

〔歯学部のアドミッション・ポリシー〕

【一般コース】

歯学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の修学に要する基礎学力を有している。
- ・ 専門科目の修学に要する思考力，判断力，表現力を有している。
- ・ 歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感を持っている。
- ・ 主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力を有している。

【歯学研究コース】

一般コースに加え，以下の資質・素養を求めます。

- ・ 将来我が国の最先端歯科口腔医療，歯科口腔医学または歯科口腔医学教育を担うことを目指し，本学部卒業後，大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するための，歯学研究コースを履修することを確約し，遂行する強い意思を持っている。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力，判断力，表現力 (思考力等)	歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感 (主体性等)	主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力 (主体性等)	最先端歯科医療，歯学研究，歯学教育を担うことを目指し，大学院に進学する強い意思 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書	○			○	
		志願調書			○		
		面接			◎	◎	
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎			
		歯学部ゼミナール	◎			◎	
		調査書	○				
		自己推薦書			○		
		面接			◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎			
		小論文		○	○		
		調査書	○				
		推薦書			○		○
		志望理由書			○		○
		面接			◎	◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	◎			
		修了(修了見込)証明書および成績証明書	○				
		個別学力検査	○	◎			
		面接			◎	◎	

【薬学部のアドミッション・ポリシー】

＜薬学科（6年制）＞

薬学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・ 専門的な学修に必要な数学と理科の学力が優れている。
- ・ 英語論文の読解・解説をはじめ、グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・ 論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・ 協調性やコミュニケーション能力を持つ。
- ・ 薬学、生命科学に高い関心があり、研究や持続的な学修への意欲を持つ。

【薬学科】選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等	基礎学力	数学，理科，英語の学力	思考能力，問題解決能力	協調性，コミュニケーション能力，関心，意欲
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(知識・技能)	(思考力等)	(思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	○	○		
		個別学力検査		◎	○	
		調査書				○
		面接			○	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	○	◎		
		推薦書				○
		調査書				○
		志望理由書				○
		面接		○	○	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○	○		
		個別学力検査		◎	○	
		面接			○	◎

＜薬科学科（4年制）＞

薬科学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・ 専門的な学修に必要な数学と理科の学力が優れている。
- ・ 英語論文の読解・解説をはじめ、グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・ 論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・ 積極的な自己表現力や行動力を持つ。
- ・ 薬学、生命科学に高い関心があり、研究や持続的な学修への意欲を持つ。

【薬科学科】選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等	基礎学力	数学、理科、英語の学力	思考能力、問題解決能力	自己表現力、行動力、関心、意欲
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(知識・技能)	(思考力等)	(思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	○	○		
		個別学力検査		◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー			○	○
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	○	◎		
		推薦書				○
		調査書				○
		志望理由書				○
		面接		○	○	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○	○		
		個別学力検査		◎	○	
		面接			○	◎

〔情報データ科学部のアドミッション・ポリシー〕

情報データ科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・情報の収集、伝達、整理・分析、加工・提示に関する基礎的な知識または技能を有する。
- ・専門的な学修に必要なとなる高校程度の数学および英語の基礎学力を有し、科学的な思考・判断・表現に応用できる。
- ・知識とデータに基づく推論がさまざまな課題解決や新たな価値の創出に活かされることを理解している。
- ・自ら学びを深めようとする姿勢と行動力を備え、多様な人々と協力して文系・理系の枠を超えた課題に取り組める。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等			求める資質等 (学力の3要素)	知識・技能・基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	主体性・協調性 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	◎	◎		
		調査書	○		○	
		ペーパー・インタビュー			○	
	後期日程	共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		調査書	○		○	
		ペーパー・インタビュー			○	
学校推薦型選抜Ⅰ	面接（口述試験を含む）	一般枠	○	◎	○	
		女子枠	○	◎	◎	
	小テスト（数学・情報関連科目）		◎			
	推薦書				○	
	調査書		○	○	○	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト		◎			
	面接	一般枠		◎	○	
		女子枠		◎	◎	
	小テスト（課題作文）		○	◎	○	
	推薦書				○	
	調査書		○	○	○	
外国人留学生選抜A	日本留学試験		◎			
	小テスト		◎			
	面接（口述試験を含む）			◎	○	
外国人留学生選抜B	小テスト		◎			
	面接（口述試験を含む）			◎	○	
	成績証明書		◎			
	志望理由書				○	
外国人留学生選抜C	IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書		○			
	面接（口述試験を含む）		○	◎	○	
	志望理由書				○	

【工学部のアドミッション・ポリシー】

工学部は、入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 数学，理科，英語の基礎学力を有している。
- ・ 論理的思考力や読解力を有している。
- ・ 工学に強い関心を持ち，主体的に学修を継続する強い意志と実行力がある。
- ・ 協調性やコミュニケーション能力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等	数学・理科・英語の 基礎学力	論理的思考力 読解力	主体性 実行力 関心度	協調性・ コミュニケーション能力
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(思考力等)	(主体性等)	(主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書			◎	○
		ペーパー・インタビュー			○	◎
	後期日程	共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		調査書			◎	○
		ペーパー・インタビュー			○	◎
総合型選抜Ⅰ		基礎学力テスト	◎	○		
		面接	○	○	○	◎
		調査書			◎	○
		自己推薦書			○	
学校推薦型選抜Ⅱ (一般枠)		共通テスト	◎	○		
		面接			○	◎
		調査書	○		◎	○
		志望理由書			○	
		推薦書			○	○
学校推薦型選抜Ⅱ (女子枠)		共通テスト	◎	○		
		面接			◎	◎
		調査書	○		○	○
		志望理由書		○	◎	
		推薦書			○	○
外国人留学生選抜		面接(口述試験を含む)	○	○	○	◎
		日本留学試験	○			
		外部英語検定試験	○			

〔環境科学部のアドミッション・ポリシー〕

環境科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 多様な環境科学を学修する基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
このため、大学入学共通テストでは幅広い科目に対して配点しています。前期日程試験の選抜方法A（文系受験）では国語と地歴・公民、選抜方法B（理系受験）では数学と理科の配点を高くしています。
- 学修・研究に必要となる基本的な英語能力がある。
前期日程の選抜方法A（文系受験）の個別学力検査で英語を課し、選抜方法B（理系受験）では英語を選択可能な科目として位置づけています。
- 環境科学を専門的に学修するために必要となる判断力や思考力を有する。
後期日程試験では、小論文試験でこれらの資質を評価します。
- 環境をめぐる諸問題に強い関心を持ち、環境科学を学ぶ意欲にあふれ、主体的に学修を継続する姿勢がある。
このため、前期日程ではペーパー・インタビューで、後期日程や総合型選抜、学校推薦型選抜、外国人留学生選抜等では面接で、これらの資質・素養を評価します。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等	基礎学力	英語能力	判断力・表現力・思考力	意欲・積極性、環境への関心度
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(知識・技能) (思考力等)	(思考力等)	(思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査		○	○	
		調査書			○	○
		ペーパー・インタビュー			○	○
	後期日程	共通テスト	◎	○		
		小論文			○	○
		面接			○	○
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		自己推薦書				◎
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		調査書			○	○
		面接			○	○
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎			
		小論文			○	○
		面接		○	○	○

〔水産学部のアドミッション・ポリシー〕

水産学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 海洋環境と海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持っている。
- ・ 地域の様々な問題に対し地球規模の視野で柔軟に対応できる分野横断的な問題解決能力を獲得する意欲を有している。
- ・ 将来、国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーになれるような自主的、主体的学修・研究姿勢を有している。
- ・ 知識偏重ではなく、将来、実社会で活躍できる論理的思考能力を有している。
- ・ 諸課題を解決するために必要な基礎的知識や技能を習得している。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等	基礎的知識・技能	論理的思考力	学修・研究姿勢	問題解決能力	水圏と社会の関わりへの関心
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(思考力等)	(主体性等)	(思考力等)	(主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	◎	◎			
		調査書	○		○		
		ペーパー・インタビュー			○	○	○
	後期日程	共通テスト	◎	◎			
		調査書	○		○		
		面接		○	◎	○	○
総合型選抜Ⅰ	小テスト	◎	◎		○		
	調査書	○					
	諸活動の記録	◎		◎		○	
	課題論文		○		○		
	自己推薦書			○		○	
	面接			◎		◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	◎				
	調査書	○					
	推薦書	○	○	○	○	○	
	志望理由書			◎		○	
	面接			◎	○	◎	
帰国生徒選抜	小論文	○	◎				
	面接	○	○	◎	○	◎	
外国人留学生選抜		面接	○	◎	◎	○	◎

2. 教職課程を必修とする学生の実習に係る犯罪事実確認制度について

(令和 8 年度以降入学者対象)

■ 対象となる学生

本学での入学前の周知対象となるのは、教育学部（教職課程を卒業要件とする課程）に入学する学生です。

※他学部において、任意で教職課程を選択する学生は、本周知の対象外です。

■ 周知内容

犯罪事実確認により、または申告により特定性犯罪前科が確認された場合、児童生徒と接する教育実習を行うことはできません。教育学部入学者においては教育実習が卒業要件であるため、卒業ができなくなる事態が発生します。

■ 制度概要

令和 6 年法律第 69 号「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行（令和 8 年 12 月 25 日予定）に伴い、教育実習に参加する学生に対し、特定性犯罪前科の有無を確認する制度が導入されます。

教育実習校の判断により、学生は実習前に犯罪事実確認を受ける場合があります。

■ 入学手続き時の対応

前述の対象となる学生に対して、入学手続き時に以下を実施します。

- ・文書による制度内容の説明
- ・入学前の教育実習等に係る同意書の提出
- ・入学前の特定性犯罪前科がない旨の誓約書の提出

■ 入学後の実習前

教育実習等を履修する学生に対して、実習前に以下を実施します。

- ・制度内容の再周知
- ・実習前の教育実習等に係る同意書の提出
- ・実習前の特定性犯罪前科がない旨の誓約書の提出

こどもとその学習環境を守るための制度です。ご理解とご協力をお願いいたします。

3. 実施日程

学 部 名			出願期間	試 験 日	合格者発表 結 果 発 送	入学手続
多文化社会学部			10/9（金） ～ 10/16（金） インターネット 出願登録は 10/2(金)から可能	11/11（水）	12/ 1（火）	12/11（金）
経 済 学 部 情報データ科学部				1/26（火）	2/ 10（水）	2/19（金）
工 学 部 環 境 科 学 部				1/27（水）		
水 産 学 部				1/29（金）		
医 学部(保健学科) 歯 学 部 薬 学 部				11/16（月） ～ 11/20（金）	2/25（木）	3/ 8（月）
医 学部(医 学科)			インターネット 出願登録は 11/9(月)から可能	2/25（木） 2/26（金）		
教育学部	学校教育教員養成課程	中学校教育コース		2/25（木） 2/26（金）		
		小学校教育コース 幼 児 教 育 コース 特別支援教育コース		2/26（金）		

注) 試験日が同一の学部の場合は併願は認めない。

4. 募 集 人 員

学 部 名	学 科 等 名		募集人員	
多文化社会学部	多文化社会学科	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	若干人	
		オランダ特別コース	若干人	
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	小 学 校 教 育 コ ー ス	若干人	
		中学校教育コース	文 系	若干人
			理 系	若干人
			実技系	若干人
		幼 児 教 育 コ ー ス	若干人	
特別支援教育コース	若干人			
経 済 学 部	総 合 経 済 学 科		若干人	
医 学 部	医 学 科		若干人	
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	若干人	
		理学療法学専攻	若干人	
		作業療法学専攻	若干人	
歯 学 部	歯 学 科		若干人	
薬 学 部	薬 学 科（6年制）		若干人	
	薬 科 学 科（4年制）		若干人	
情報データ科学部	情報データ科学科	A（一般枠）	5 人	
		B（推薦枠）	5 人	
		C（国際バカロレア枠）	若干人	
工 学 部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	若干人	
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス	若干人	
		社会環境デザイン工学コース	若干人	
		化 学 ・ 物 質 工 学 コ ー ス	若干人	
環 境 科 学 部	環 境 科 学 科		8 人	
水 産 学 部	水 産 学 科		若干人	

- 注 1) 外国人留学生選抜（情報データ科学部及び環境科学部）による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の募集人員に加えて選抜する。
- 2) 多文化社会学部の国際公共政策コース，社会動態コース，共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては，1年次終了時にコースを決定する。
- 3) 教育学部小学校教育コースはコースで募集し，入学後に所属する系を決定する。
- 4) 工学部では，機械工学，電気電子工学，社会環境デザイン工学，化学・物質工学コースの4つのコースで募集を行う。

5. 出 願 資 格

学力検査等において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全て受験していなければ、合格者とはならない。

【全学部共通】（ただし、情報データ科学部B（推薦枠）及びC（国際バカロレア枠）を除く。）

外国人〔日本国籍を有しない者（日本国永住許可を受けている者を除く。）〕で、次の(1)～(5)のいずれかに該当し、令和7年度又は令和8年度の日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等を受験したもの。

日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等については、25～26ページで確認すること。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者（令和9年3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- (5) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格（科目数及び評価については24ページ下部の別表参照）を外国において取得した者

【多文化社会学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT（Home Editionを含む。）従来スコアの場合は61点以上、総合バンドスコアの場合は3.5以上、TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコアを有すること。

注1) 外国語検定試験は、令和6年11月以降に受験した試験に限る。

注2) 外国語検定試験は公式スコアに限る。なお、TOEFL iBT（Home Editionを含む。）はTest Dateスコアのみを対象とし、TOEIC IP及びIELTSのOne Skill Retakeは対象としない。

【教育学部（小学校教育コース・幼児教育コース・特別支援教育コース）】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT（Home Editionを除く。）従来スコアの場合は41点以上、総合バンドスコアの場合は2.5以上（いずれもTest Dateスコアに限る。）又はTOEIC L&R 400点以上のいずれかのスコアを有すること（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）。

【教育学部（中学校教育コース 文系）】

入学後に専攻する希望教科として、出願時に「社会」又は「英語」を選択する者は、次の要件を満たすこと。

① 社会

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT（Home Editionを除く。）従来スコアの場合は41点以上、総合バンドスコアの場合は2.5以上（いずれもTest Dateスコアに限る。）又はTOEIC L&R 400点以上のいずれかのスコアを有すること（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）。

② 英語

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT（Home Editionを除く。Test Dateスコアに限る。）又はTOEIC L&Rを受験していること（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）。

【教育学部（中学校教育コース 理系・実技系）】

全学部共通の要件のみ

【経済学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT（Home Editionを除く。）従来スコアの場合は39点以上、総合バンドスコアの場合は2.5以上（いずれもTest Dateスコアに限る。）又はTOEIC L&R 385点以上を有すること（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）。

【医学部医学科】

全学部共通の要件のみ

【医学部保健学科】

全学部共通の要件のみ

【歯学部】

全学部共通の要件のみ

【薬学部】

全学部共通の要件のみ

【情報データ科学部A（一般枠）】

全学部共通の要件を満たし、かつ、日本留学試験の日本語（聴解・聴読解及び読解）合計240点以上の得点を有すること。

【情報データ科学部B（推薦枠）】

外国人〔日本国籍を有しない者（日本国永住許可を受けている者を除く。）〕で、外国において学校教育における12年の課程を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（注）で、次の各号に該当するもの

- (1) 情報データ科学分野を志し、人物、学業に優れた者で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、中等教育の学校長（日本の高等学校校長相当）が責任をもって推薦できるもの
- (2) 在籍する中等教育の学校での成績（評定値平均）が Grade Point Average（GPA）3.0 以上の者又はそれに準ずる者
- (3) 入学後は所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学大学院に進学する強い意志をもつ者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

【情報データ科学部C（国際バカロレア枠）】

外国人〔日本国籍を有しない者（日本国永住許可を受けている者を除く。）〕で、次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア機構事務局が授与する国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma（以下「IB」という。））を取得した者又は令和9年3月までに取得見込みのもの
- (2) 日本語を母語とする者又は日本語A・日本語Bのいずれかを履修している者若しくは情報データ科学部の科目を受講可能な日本語能力を備えていることを証明する書類を提出できるもの
- (3) IBの取得において次の科目を履修した者（HL：Higher Level）
物理（HL）、化学（HL）、生物（HL）から2科目及び数学（HL）必修

※ 国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、令和9年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消しとなる。

【工学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、日本留学試験の日本語（聴解・聴読解及び読解）合計240点以上の得点を有すること。

また、TOEFL iBT（Home Editionを除く。Test Date スコアに限る。）又はTOEIC L&Rを受験していること（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）。

工学部では、機械工学、電気電子工学、社会環境デザイン工学、化学・物質工学コースの4コースで募集を行う。

【環境科学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、日本留学試験の日本語（聴解・聴読解、読解及び記述）合計320点以上の得点を有すること。

【水産学部】

全学部共通の要件を満たし、かつ、TOEFL iBT（Home Editionを除く。Test Date スコアに限る。）又はTOEIC L&Rを受験していること（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）。

（注）文部科学大臣の指定したものについては、文部科学省高等教育局大学教育・入試課が管理するホームページ「大学入学資格について」で確認すること。

別表（本学の出願に必要な GCE・A レベル資格の科目数及び評価について）

学部等	科目数及び評価
多文化社会学部，教育学部，経済学部	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。
医学部医学科	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。 ただし、「数学」，「化学」，「生物」の3科目を含むものとする。
医学部保健学科	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。
歯学部，薬学部， 情報データ科学部	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」，「化学」，「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
工学部，環境科学部， 水産学部	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。

日本の高等学校等を卒業した者は、この募集要項による選抜には該当しない。
不明な点がある場合は、長崎大学学生支援部入試課（095-819-2113）へ問い合わせること。
試験日が同一の学部の併願は認めない。

6. 入学者選抜方法

外国人留学生選抜は、日本留学試験、本学が実施する学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行う。
 なお、日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等及び本学の学力検査等については次表のとおりとする。

教科・科目等 学部・学科等			日本留学試験において指定する教科・科目等			本学の学力検査等		
			出題教科・科目	出題言語の指定	成績の利用方法	実施教科等	摘 要	
多文化社会学部			日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月実施分のいずれか1回分の成績	面接 (日本語及び英語による面接)	個人面接で実施し、英語の能力は、面接の中でみる。	
			総合科目	日本語・英語のどちらでも良い				
			数学 コース 1	日本語・英語のどちらでも良い				
教育学部	小学校教育コース (注1)		日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	個人面接で実施し、日本語で行う。	
			総合科目	日本語				
			数学 コース 1	日本語				
	中学校 教 育	文 系 (注2)	日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	国語 地理歴史 外国語 } から1 (注3)	国語(現代の国語, 言語文化, 論理国語, 文学国語, 古典探究) 地理歴史(「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」から1) 外国語(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)(注4) 個人面接(入学後に専攻する希望教科として, 出願時に「国語」又は「社会」を選択した場合は日本語で, 「英語」を選択した場合は日本語及び英語でそれぞれ行う。)	
			総合科目	日本語				
			数学 コース 1	日本語				
		高等学校	理 系 (注5)	日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学 理科 } から1 (注6)	数学〔数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C〕 理科〔「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から出願時に1科目群を選択〕 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。
				理科「物理」 「化学」 「生物」	日本語			
				数学 コース 2	日本語			
	実技系	日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	実技検査 (体育) 面接	実技検査の内容は、28ページを参照すること。 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。		
		総合科目	日本語					
		数学 コース 1	日本語					
	幼児教育コース		日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	個人面接で実施し、日本語で行う。	
			総合科目	日本語				
			数学 コース 1	日本語				
	特別支援教育コース		日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	個人面接で実施し、日本語で行う。	
			総合科目	日本語				
			数学 コース 1	日本語				
経済学部			日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績(ただし、日本語の満点(記述を除く)の400点を200点に換算したうえで、3教科合計の満点の600点を100点に換算する。)	小論文 面接 (TOEFL iBT(Home Editionを除く。Test Dateスコアに限る。))又はTOEIC L&Rのスコアを評価に含む。)	小論文は日本語又は英語で解答すること。 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。	
			総合科目	日本語				
			数学 コース 1	日本語				
医学部(医学科)			日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学 理科 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C〕 理科(「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から2) 外国語(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)(注4) 理科は, 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から出願時に2科目群を選択し届け出ること。 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。	
			理科「化学」 「生物」	日本語・英語のどちらでも良い				
			数学 コース 2	日本語・英語のどちらでも良い				
医学部(保健学科)			日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	外国語 面接	外国語(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)(注4) 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。	
			理科「化学」から1 「生物」(注7)	日本語・英語のどちらでも良い				

教科・科目等 学部・学科等		日本留学試験において指定する教科・科目等			本学の学力検査等		
		出題教科・科目	出題言語の指定	成績の利用方法	実施教科等	摘 要	
歯 学 部		日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学	数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C〕 理科（「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から1） 外国語〔英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ（注4）〕 理科は、「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から出願時に1科目群を選択し届け出ること。 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。	
		理科「物理」 「化学」 「生物」 } から2	日本語・英語の どちらでも良い		理科		
		数学 コース2	日本語・英語の どちらでも良い		外国語 面接		
薬 学 部	薬 学 科 薬 科 学 科	日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学	数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C〕 理科（「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から1） 外国語〔英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ（注4）〕 理科は、「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から出願時に1科目群を選択し届け出ること。 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。	
		理科「化学」 「物理」 「生物」 } から1	日本語・英語の どちらでも良い		理科		
		数学 コース2	日本語・英語の どちらでも良い		外国語 面接		
情報データ科学部	外国人留学生選抜A （一 般 枠）	日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	小テスト （筆記試験）	小テストは高等学校程度の数学（特に代数、微積分、確率・統計）を出題し基礎学力を評価する。 面接は個人面接で実施し、英語及び日本語で行う。 英語能力は、面接の中でみる。	
		理科「物理」 「化学」 「生物」 } から1（注7）	日本語・英語の どちらでも良い		面接 （口述試験を含む。）		
		数学 コース2	日本語・英語の どちらでも良い				
	外国人留学生選抜B （推 薦 枠）				小テスト （筆記試験） 面接 （口述試験を含む。）	小テストは高等学校程度の数学（特に代数、微積分、確率・統計）を出題し基礎学力を評価する。 面接は個人面接で実施し、英語及び日本語で行う。英語能力は、面接の中でみる。	
	外国人留学生選抜C （国際バカロレア枠） （注8）				面接 （口述試験を含む。）	個人面接で実施し、英語及び日本語で行う。英語能力は、面接の中でみる。	
工 学 部		日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接 （口述試験等を含む。また、TOEFL iBT(Home Editionを除く。Test Dateスコアに限る。）又はTOEIC L&Rのスコアを評価に含む。）	個人面接で実施し、日本語で行う。 社会環境デザイン工学コースにおいては、面接の際の資料とするため、面接前に基礎的な試問（筆記）を行う。	
		理科「物理」 「化学」	日本語・英語の どちらでも良い				
		数学 コース2	日本語・英語の どちらでも良い				
環境科学部	文系受験	日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	小論文 面接	小論文は日本語で解答すること。 面接は個人面接で実施し、日本語で行う。 英語能力は、面接の中でみる。 入学後は、英語の講義を必修科目として受講する必要がある。	
		総合科目	日本語				
		数学（コース1又はコース2）	日本語				
	理系受験	日本語	日本語のみ				
		理科「物理」 「化学」 「生物」 } から2	日本語				
		数学（コース1又はコース2）	日本語				
水 産 学 部		日本語	日本語のみ	令和7年6月若しくは11月又は令和8年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接 （TOEFL iBT(Home Editionを除く。Test Dateスコアに限る。）又はTOEIC L&Rのスコアを評価に含む。）	個人面接で実施し、日本語で行う。 英語能力は、面接の中でみる。	
		理科「物理」 「化学」 「生物」 } から2	日本語				
		数学（コース1又はコース2）	日本語				

注1） 小学校教育コース各系（子ども理解系，教科授業開発系，離島・地域文化系）への所属は，入学後に，所属系志望調査を行った上で決定する。詳細は，入学後のオリエンテーションで説明する（小学校教育コース各系の説明に関しては，教育学部ホームページを参照すること。）。
（URL：https://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/）

2） 出願時に，入学後に専攻する希望教科（国語，社会，英語）を選択する。

3） 国語，地理歴史（「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」から1科目）及び外国語の3教科から1教科を選択。複数教科を受験することもできる。複数教科を受験している場合は，高得点の教科を採用する（出願後の選択・変更は不可）。

4） 英語はリスニングテストを実施しない。

5） 出願時に，入学後に専攻する希望教科（数学，理科）を選択する。

6） 数学及び理科の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は高得点の教科を採用する。

7） 日本留学試験の「理科」については，高得点の1科目を採用する。

8） 外国人留学生選抜C（国際バカロレア枠）志願者で，日本語を母語とせず，日本語A・日本語Bのいずれかを履修していない場合は，「情報データ科学部の科目を受講可能な日本語能力を備えていることを証明する書類」（例：日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書等）の提出を要する。

その他

教育学部中学校教育コース文系及び理系における合格者が入学後に専攻する教科は，出願時に選択した教科とし，合格発表時に通知する。

外国人留学生選抜の実施教科・科目等及び配点

学部学科等名		試験の区分	日本留学試験・学力検査等の配点等																	配点合計		
			日本留学試験									学力検査等										
			日本語		理科			総合科目	数学		国語	地歴・公民	外国語	数学	理科	実技検査	小テスト	小論文	面接		出願書類	
読解, 聴解・聴読解	記述	物理	化学	生物	コース1	コース2																
多文化社会学部		日本留学試験	100(注3)	100(注3)				100(注3)	100(注3)												100	
		学力検査等																	200		200	
		計	100(注3)	100(注3)				100(注3)	100(注3)										200		300	
教育学部	小学校教育コース	日本留学試験	◆	◆				◆	◆													
		学力検査等																	100		100	
		計	◆	◆				◆	◆										100		100	
	中学校教育コース(文系)	日本留学試験	400	50				200	200												850	
		学力検査等										*300							100		400	
		計	400	50				200	200			*300							100		1250	
	中学校教育コース(理系)	日本留学試験	400	50	*200					200										850		
		学力検査等												*400				100		500		
		計	400	50	*200					200				*400				100		1350		
	中学校教育コース(実技系)	日本留学試験	400	50				200	200												850	
		学力検査等													600				100		700	
		計	400	50				200	200						600				100		1550	
	幼児教育コース	日本留学試験	◆	◆				◆	◆													
		学力検査等																	100		100	
		計	◆	◆				◆	◆										100		100	
	特別支援教育コース	日本留学試験	◆	◆				◆	◆													
		学力検査等																	100		100	
		計	◆	◆				◆	◆										100		100	
経済学部		日本留学試験	100(注4)				100(注4)	100(注4)												100		
		学力検査等																40	60		100	
		計	100(注4)					100(注4)	100(注4)									40	60		200	
医学部	医学科	日本留学試験	400	50		100	100			200											850	
		学力検査等											200	250	250				150		850	
		計	400	50		100	100			200			200	250	250				150		1700	
	保健学科	日本留学試験	100(注5)	100(注5)	*100(注5)															100		
		学力検査等											100						100		200	
		計	100(注5)	100(注5)	*100(注5)								100						100		300	
歯学部		日本留学試験	400	50	*200					200										850		
		学力検査等											200	200	200				50		650	
		計	400	50	*200					200			200	200	200				50		1500	
薬学部	薬学科 薬科学科	日本留学試験	400	50	*100	100	*100			200										850		
		学力検査等											200	200	200				200		800	
		計	400	50	*100	100	*100			200			200	200	200				200		1650	
情報データ科学部	外国人留学生選抜A (一般枠)	日本留学試験	100(注6)		*100(注6)					100(注6)										100		
		学力検査等															100		100		200	
		計	100(注6)		*100(注6)					100(注6)						100		100		300		
	外国人留学生選抜B (推薦枠)	日本留学試験																				
		学力検査等															100		100	100	300	
		計															100		100	100	300	
	外国人留学生選抜C (国際バカロレア枠)	日本留学試験																				
		学力検査等																	100	100	200	
		計																	100	100	200	
工学部		日本留学試験	100(注7)		100(注7)	100(注7)				100(注7)										100		
		学力検査等																	200		200	
		計	100(注7)		100(注7)	100(注7)				100(注7)									200		300	
環境科学部	文系受験	日本留学試験	400	50				200	*200												850	
		学力検査等																	100	150		250
		計	400	50				200	*200										100	150		1100
	理系受験	日本留学試験	400	50	*200					*200											850	
		学力検査等																	100	150		250
		計	400	50	*200					*200									100	150		1100
水産学部		日本留学試験	◆	◆	◆				◆													
		学力検査等																	10		10	
		計	◆	◆	◆				◆									10		10		

注1) 配点に*印を付した教科は、選択科目を表す。

2) 配点に◆印を付した教科は、受験を要するが、合否判定には用いない。

3) 日本語(450点満点)、総合科目(200点満点)、数学(コース1)(200点満点)の合計得点(850点満点)を100点満点に換算する。

4) 日本語の満点(記述を除く)の400点を200点に換算したうえで、3教科合計の満点の600点を100点に換算する。

5) 日本語(450点満点)、理科(100点満点)の合計得点(550点満点)を100点満点に換算する。

6) 日本語(記述を除く)(400点満点)、理科(100点満点)、数学(コース2)(200点満点)の合計得点(700点満点)を100点満点に換算する。

7) 日本語(記述を除く)(400点満点)、物理(100点満点)、化学(100点満点)、数学(コース2)(200点満点)の合計得点(800点満点)を100点満点に換算する。

7. 学力検査の出題範囲

教科・科目	出題範囲
数 学	学部・学科等が指定する5科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」）又は6科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」）を出題範囲とする。 ただし、「数学B（統計的な推測）」の単元の出題については、以下のとおり取り扱う。 5科目の「数学B（統計的な推測）」の単元については、「数学C（平面上の曲線と複素数平面）」の単元とのいずれか一方を選んで解答する選択問題として出題する。 また、6科目の「数学B（統計的な推測）」の単元については、選択問題として出題する。
物 理	「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。
化 学	「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。
生 物	「生物基礎」及び「生物」の全てを出題範囲とする。
地 学	「地学基礎」及び「地学」の全てを出題範囲とする。
英 語	学部・学科等が指定する3科目（「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」）又は6科目（「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」）を出題範囲とする。 リスニングテストは実施しない。

8. 実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程・中学校教育コースの実技系（保健体育）の志願者に対し、以下の実技検査を行う。

実技検査（体育）

「陸上競技」、「器械運動」、「球技」の3領域にわたり検査を行う。

領 域 及 び 運 動		受 験 方 法
陸 上 競 技		全員が受験すること。
器 械 運 動		全員が受験すること。
球 技	①バレーボール ②バスケットボール ③サッカー	①～③の3種目から、2種目選択し、受験すること。

注1）運動のできる服装を用意すること。

2）専門の用具を使用してもよい。

3）運動靴は、屋内用と屋外用を用意すること。

9. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

本学ホームページ「入試情報」→「入試情報サイト」→「インターネット出願」からインターネット出願システムを利用して出願を行う。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/>

出願書類の様式は、<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/>からダウンロードすること。

【注 意】

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願完了にはならない。

以下の出願の流れに沿って①から④までの手続きを行い、必要書類を出願締切日の 17 時までに本学に届くよう郵送すること。

【インターネットを利用した出願の流れ】

①募集要項の確認(ダウンロード)(事前準備書類の印刷)



本学HP「入試情報サイト」から「募集要項」をダウンロードし、受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認する。

※志望理由書等、事前に自分で印刷して準備する書類もあるので注意すること。

②出願情報の登録(一時保存機能付き)



パソコン又はスマートフォンから本学HP「入試情報サイト」のインターネット出願ページにアクセスし、画面の指示に従って登録内容を入力する。

【登録内容】◎入試区分の選択 ◎学部・学科・受験科目等の選択

◎氏名・連絡先等の個人情報の入力 ◎証明写真データのアップロード

※一時保存機能により、検定料支払い前に学校の先生や保護者の方の確認も可能。

※登録後に発行される整理番号とセキュリティコードは、受験票を印刷する際に必要となるので、必ずメモをとる等して控えること。

※検定料支払い後は、登録内容の変更はできないので、支払い前に再度確認すること。

③支払方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を次から選択する。

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM(ペイジー) ◎ネットバンキング

選択した支払い方法に従って、出願締切日までに**出願書類を郵送**できるように入学検定料を支払うこと。

④必要書類の印刷・郵送



インターネット出願システムから出願確認票を印刷し、自分で準備した調査書等の必要書類とともに封筒に入れる。

その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り、長崎大学へ出願締切日の 17 時までに届くように**郵送**し、**出願完了**となる。

【インターネット出願操作に関わるお問い合わせ】

出願受付操作サポート窓口 TEL 0120-752-257

お問い合わせの前に、以下の「よくある質問(Q&A)」を確認すること。

アドレス <https://www.guide.52school.com/guidance/net-nagasaki-u/faq/>

(2) インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日

多文化社会学部	令和8年10月2日(金)
その他の学部	令和8年11月9日(月)

注) 下記の出願締切日時までに¹⁾出願書類を提出できるように登録及び支払いを済ませること。

(3) 出願期間(出願書類提出期間)

多文化社会学部	令和8年10月9日(金)～令和8年10月16日(金)
その他の学部	令和8年11月16日(月)～令和8年11月20日(金)

注) 出願は郵送のみ受付(持参受付は行わないので、郵便事情を考慮し、余裕をもって出願すること。)

出願書類等を郵送する際は、市販の角形2号封筒にインターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを必ず貼り付け、国内からは簡易書留速達、国外からはEMSやDHL等とし、各出願締切日の17時までに必着するように郵送すること。

出願書類について到着確認をしたい場合は、簡易書留郵便等のお問い合わせ番号により、郵便追跡サービスで確認すること。

(4) 出 願 書 類

- ・ 下記の①～③の書類を提出すること。
- ・ 各書類の提出を要する学部については表の右側を参照すること。

① インターネット出願システムから印刷するもの 必ずA4サイズでカラー印刷すること。

出願書類等	摘 要	該当学部
出願確認票	出願内容等に間違いがないか確認して、インターネット出願システム登録後に印刷すること(出願確認票と宛名ラベルは、証明写真のアップロードと検定料の支払いが完了しないと印刷できない。) 出願確認票は大学へ郵送する書類である。 宛名ラベルは出願書類郵送時に封筒に貼付(糊付け可)すること。	全学部
宛名ラベル		

② 出願者が各自で準備するもの

出願書類等	摘 要	該当 学部																
卒業証明書 成績証明書 など	以下の4つのいずれかのうち該当する1つを郵送すること。 書類が日本語以外の場合には日本語訳を添付し郵送すること。（日本語訳は志願者本人が作成したものでも差し支えない。）	全学部																
	(1) 国際バカロレア資格取得者及びフランスのバカロレア資格取得者 資格証明書（写）及び成績証明書																	
	(2) アビトゥア資格取得者 一般的大学入学資格証明書（写）																	
	(3) 英国の GCE-A レベル資格取得者 成績評価証明書（写）																	
	(4) (1)～(3)以外の者 ・卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書 ※ ・成績証明書 ※ ※1. 日本の高等学校に対応する学校のもの。 写しは不可，原本のみ可 ※2. 情報データ科学部 B（推薦枠）志願者は，中等教育の学校長（日本の高等学校長相当）が作成（押印）した Grade Point Average（GPA）の証明書を添付すること。 Grade Point Average（GPA）は，授業ごとの成績評価を 5 段階（ABCDF）で評価し，それぞれに対して 4・3・2・1・0 の GP を付与し，この単位当たりの平均値（GPA）。 GPA 計算式 〔(科目の単位数) × (その科目で得た GP)] の累計 / (履修登録した単位数) の累計 5 段階評価の換算例 <table><tr><th>評語</th><th>評価点</th><th>GP</th></tr><tr><td>A (excellent)</td><td>90 - 100</td><td>4</td></tr><tr><td>B (good)</td><td>80 - 89</td><td>3</td></tr><tr><td>C (average)</td><td>70 - 79</td><td>2</td></tr><tr><td>D (passing)</td><td>60 - 69</td><td>1</td></tr><tr><td>F (failing)</td><td>0 - 59</td><td>0</td></tr></table>		評語	評価点	GP	A (excellent)	90 - 100	4	B (good)	80 - 89	3	C (average)	70 - 79	2	D (passing)	60 - 69	1	F (failing)
評語	評価点	GP																
A (excellent)	90 - 100	4																
B (good)	80 - 89	3																
C (average)	70 - 79	2																
D (passing)	60 - 69	1																
F (failing)	0 - 59	0																
在留資格証明書	①日本における在留資格を持つ者 ・在留カードの両面コピー，もしくは居住する市区町村発行の住民票（国籍・在留資格・在留期間が記載されたもの）のコピー	全学部																
	②上記以外の者 ・パスポートの「本人の氏名」，「国籍」，「顔写真」が判るページのコピー ・パスポートを所持していない場合は，日本国以外の国籍を有することを証明する書類																	
外国語検定試験 の成績証明書等	〈多文化社会学部〉 次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等のいずれかの 写し を郵送すること。																	
	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類																
	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 61 点以上，総合バンドスコアの場合は 3.5 以上）																
	TOEIC L&R	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（730点以上）																
	TOEIC L&R	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（730点以上）																
	IELTS	IELTS Test Report Form（5.5 以上）																
(次頁に続く)	注1）外国語検定試験は，令和6年11月以降に受験した試験に限る。 注2）外国語検定試験は公式スコアに限る。なお，TOEFL iBT（Home Editionを含む。）は Test Date スコアのみを対象とし，TOEIC IP 及び IELTS の One Skill Retake は対象としない。																	

出願書類等	摘 要	該当 学部								
外国語検定試験 の成績証明書等	〈教育学部（小学校教育コース・幼児教育コース・特別支援教育コース）〉 次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等のいずれかの原本または写しを郵送すること。 ただし、TOEFL iBTについては、ETS アカウントからダウンロードした Test Taker Score Report（PDF 版）を印刷したものを提出すること。 <table><tr><th>外国語検定 試験の種類</th><th>成績証明書等の種類</th></tr><tr><td>TOEFL iBT</td><td>TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 41 点以上，総合バンド スコアの場合は 2.5 以上）</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（原本）</td><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（400点以上）</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（写し）</td><td>TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（400点以上）</td></tr></table> 注 1）出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験（TOEFL iBT（Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。）又は TOEIC L&R）のスコアレポートを郵送すること。 注 2）外国語検定試験のスコアレポートの原本の返送を希望する場合は、次の書類を出願時に提出すること。 ①日本国内に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記し，切手等を貼付したもの） ②海外に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記したもの） ・FedEx のアカウントナンバー（アカウントナンバーが記載されているページを印刷したもの） ※荷受人負担で返送するため，志願者は出願前までに FedEx のアカウントを作成すること。	外国語検定 試験の種類	成績証明書等の種類	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 41 点以上，総合バンド スコアの場合は 2.5 以上）	TOEIC L&R（原本）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（400点以上）	TOEIC L&R（写し）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（400点以上）	教育学部
	外国語検定 試験の種類	成績証明書等の種類								
TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 41 点以上，総合バンド スコアの場合は 2.5 以上）									
TOEIC L&R（原本）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（400点以上）									
TOEIC L&R（写し）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（400点以上）									
〈教育学部（中学校教育コース 文系）〉 次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等のいずれかの原本または写しを郵送すること。 ただし、TOEFL iBTについては、ETS アカウントからダウンロードした Test Taker Score Report（PDF 版）を印刷したものを提出すること。 <table><tr><th>外国語検定 試験の種類</th><th>成績証明書等の種類</th></tr><tr><td>TOEFL iBT</td><td>TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 41 点以上，総合バンド スコアの場合は 2.5 以上）</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（原本）</td><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（400点以上）</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（写し）</td><td>TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（400点以上）</td></tr></table> 注 1）入学後に専攻する希望教科として，出願時に「社会」又は「英語」を選択する者は，出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験（TOEFL iBT（Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。）又は TOEIC L&R）のスコアレポートを郵送すること。 注 2）外国語検定試験のスコアレポートの原本の返送を希望する場合は，次の書類を出願時に提出すること。 ①日本国内に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記し，切手等を貼付したもの） ②海外に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記したもの） ・FedEx のアカウントナンバー（アカウントナンバーが記載されているページを印刷したもの） ※荷受人負担で返送するため，志願者は出願前までに FedEx のアカウントを作成すること。	外国語検定 試験の種類	成績証明書等の種類	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 41 点以上，総合バンド スコアの場合は 2.5 以上）	TOEIC L&R（原本）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（400点以上）	TOEIC L&R（写し）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（400点以上）		
外国語検定 試験の種類	成績証明書等の種類									
TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 41 点以上，総合バンド スコアの場合は 2.5 以上）									
TOEIC L&R（原本）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（400点以上）									
TOEIC L&R（写し）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（400点以上）									

外国語検定試験 の成績証明書等	〈経済学部〉 次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等を郵送すること。 TOEIC L&R については、成績証明書等の原本を提出すること。ただし、原本は発行に時間がかかるため、出願時は写しの提出でも可とする。写しを提出した場合は、令和 8 年 12 月 14 日（月）までに必ず原本を提出すること。 また、TOEFL iBT については、ETS アカウントからダウンロードした Test Taker Score Report（PDF 版）を印刷したものを提出すること。 なお、提出する成績証明書等は以下のとおりである。 <table><tr><th>外国語検定試験の種類</th><th>成績証明書等の種類</th></tr><tr><td>TOEFL iBT</td><td>TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 39 点以上、総合バンドスコアの場合は 2.5 以上）</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（原本）</td><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（385 点以上）</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（写し）</td><td>TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（385点以上）</td></tr></table> 注 1）出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験（TOEFL iBT（Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。）又は TOEIC L&R）のスコアレポートを郵送すること（両方を提出しても構わない。ただし、その場合は、本学設定の換算方法で高得点の試験を採用する。）。 注 2）外国語検定試験のスコアレポートの原本の返送を希望する場合は、次の書類を出願時に提出すること。 ①日本国内に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記し、切手等を貼付したもの） ②海外に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記したもの） ・FedEx のアカウントナンバー（アカウントナンバーが記載されているページを印刷したもの） ※荷受人負担で返送するため、志願者は出願前までに FedEx のアカウントを作成すること。	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 39 点以上、総合バンドスコアの場合は 2.5 以上）	TOEIC L&R（ 原本 ）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（385 点以上）	TOEIC L&R（ 写し ）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（385点以上）	経済学部
	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類								
	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report （従来スコアの場合は 39 点以上、総合バンドスコアの場合は 2.5 以上）								
	TOEIC L&R（ 原本 ）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（385 点以上）								
	TOEIC L&R（ 写し ）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate（385点以上）								
	〈工学部〉 次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等のいずれかの原本または写しを郵送すること。 ただし、TOEFL iBT については、ETS アカウントからダウンロードした Test Taker Score Report（PDF 版）を印刷したものを提出すること。 <table><tr><th>外国語検定試験の種類</th><th>成績証明書等の種類</th></tr><tr><td>TOEFL iBT</td><td>TOEFL iBT Test Taker Score Report</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（原本）</td><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate</td></tr><tr><td>TOEIC L&R（写し）</td><td>TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate</td></tr></table> 注 1）出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験（TOEFL iBT（Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。）又は TOEIC L&R）のスコアレポートを郵送すること。 注 2）外国語検定試験のスコアレポートの原本の返送を希望する場合は、次の書類を出願時に提出すること。 ①日本国内に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記し、切手等を貼付したもの） ②海外に返送を希望する者 ・返送用封筒（宛先を明記したもの） ・FedEx のアカウントナンバー（アカウントナンバーが記載されているページを印刷したもの） ※荷受人負担で返送するため、志願者は出願前までに FedEx のアカウントを作成すること。	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report	TOEIC L&R（ 原本 ）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate	TOEIC L&R（ 写し ）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate	工学部
	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類								
	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report								
	TOEIC L&R（ 原本 ）	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate								
	TOEIC L&R（ 写し ）	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate								

外国語検定試験 の成績証明書等	〈水産学部〉 次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等のいずれかの 原本 または 写し を郵送すること。 ただし、TOEFL iBTについては、ETS アカウントからダウンロードした Test Taker Score Report (PDF 版) を印刷したものを提出すること。	水産学部								
	<table><tr><td>外国語検定 試験の種類</td><td>成績証明書等の種類</td></tr><tr><td>TOEFL iBT</td><td>TOEFL iBT Test Taker Score Report</td></tr><tr><td>TOEIC L&R (原本)</td><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate</td></tr><tr><td>TOEIC L&R (写し)</td><td>TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate</td></tr></table>		外国語検定 試験の種類	成績証明書等の種類	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report	TOEIC L&R (原本)	TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate	TOEIC L&R (写し)	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate
	外国語検定 試験の種類		成績証明書等の種類							
	TOEFL iBT		TOEFL iBT Test Taker Score Report							
	TOEIC L&R (原本)		TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate							
TOEIC L&R (写し)	TOEIC Listening&Reading Digital Official Score Certificate									
注1) 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験 (TOEFL iBT (Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。) 又は TOEIC L&R) のスコアレポートを郵送すること。										
注2) 外国語検定試験のスコアレポートの原本の返送を希望する場合は、次の書類を出願時に提出すること。 ①日本国内に返送を希望する者 ・返送用封筒 (宛先を明記し、切手等を貼付したもの) ②海外に返送を希望する者 ・返送用封筒 (宛先を明記したもの) ・FedEx のアカウントナンバー (アカウントナンバーが記載されているページを印刷したもの) ※荷受人負担で返送するため、志願者は出願前までに FedEx のアカウントを作成すること。										
志望理由書	P29 の URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入 (Word 作成可) したものを郵送すること。	情報データ 科学部 B(推薦枠)・C(国際バカロレア枠)のみ								
推薦書	P29のURLからダウンロードした本学所定の様式により、学校長が作成 (Word作成可) し厳封したものを郵送すること。	情報データ 科学部 B(推薦枠)のみ								
国際バカロレア資格証書の写し等	国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) の写しとIB 最終試験の成績証明書を郵送すること。 【出願期間までに上記の書類が提出できない場合】 在籍する (した) 学校長又は進路指導担当者が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書 (様式任意) 及び「IB Predicted Grades」を郵送すること。 合格者は、国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) の写しとIB最終試験の成績証明書を令和9年3月31日までに郵送すること。 期限までに上記の書類を本学が受領できない場合、合格取消となる。	情報データ 科学部 C(国際バカロレア枠)								
情報データ科学部の科目を受講可能な日本語能力を備えていることを証明する書類の写し	日本語を母語とせず、日本語A・日本語B のいずれかを履修していない場合は、「情報データ科学部の科目を受講可能な日本語能力を備えていることを証明する書類」の写しを郵送すること。 例1 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 例2 日本留学試験成績に関する証明書で、日本語の成績がわかるもの 例3 その他の証明書等	情報データ 科学部 C(国際バカロレア枠) の該当する者								

③ 本学所定の用紙(HPに掲載)を印刷し作成するもの
必ずA4サイズで印刷すること。

出願書類等	摘 要	該当学部
日本留学試験 チェックシート	29ページのURLからダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入したものを郵送すること。	全学部(情報データ科学部B(推薦枠)及びC(国際バカロレア枠)を除く)

(5) 検定料

以下を参照のうえ、検定料として17,000円を支払うこと。

- ① 支払期間は、30ページ「(2)インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日」を参照
- ② 支払い時に別途必要な手数料は、入学志願者本人の負担となる。
- ③ 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

検定料を支払ったが長崎大学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、又は検定料を誤って二重に支払った場合には、支払った者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。

※ 問い合わせ先：長崎大学学生支援部入試課 TEL 095-819-2113

※ 令和8年熊本地震により被災された志願者には、本学が認めた場合、入学検定料免除の特例措置を行うので、出願前に必ず長崎大学学生支援部入試課(TEL095-819-2113)へ連絡すること。申請書類は、出願期間開始日の1週間前までに必着である。

なお、対象となる者、申請方法等の詳細については、本学ホームページ(検定料免除の特例措置)にも掲載している。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/zizen/#02>

(6) 注意事項

- ① 出願書類を郵送した時点で出願の意思ありと判断するため、それ以降の出願取消の申し出には一切応じない。
- ② 志望する学部・学科・コース等は、出願後の志願者による追加・変更は一切認めない。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は、本学学生支援部入試課から電話等により連絡することがある。出願書類に不備があり出願締切日の17時までに解消されない場合は出願を受理できないので、「入力・記入もれ」、「誤入力・誤記」など不備がないよう十分確認すること。
- ④ 一旦受理した出願書類等(外国語検定試験のスコアレポートの原本を除く。)はいかなる理由があっても返還しない。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがある。
- ⑥ 本学の学力検査等及び日本留学試験において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全て受験していなければ、合格者とはならない。

10. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、原則として出願期間開始3週間前迄に、下記の内容を記載した申請書(任意様式)に医師の診断書(大学入学共通テストでの受験上の配慮申請のために診断書を取得している場合は、その写しでも可)を添え、学生支援部入試課へ提出し、事前に相談すること。申請書等の内容を検討の上、配慮について通知する。

上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じるが、十分な対応が出来なくなることもある。

入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

【申請書の内容】(志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号・FAX番号等を明記すること。)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ①入試区分・志願学部・学科(コース・専攻) | ②障がいの種類・程度 |
| ③受験上の配慮を希望する事項 | ④修学上の配慮を希望する事項 |
| ⑤出身学校等でとられていた配慮 | ⑥日常生活の状況 |

⑦大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)【大学入学共通テストにおいて受験上の配慮決定通知を受けた者】

○申請先：〒852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学学生支援部入試課 TEL 095-819-2113

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

11. 長期履修制度

長期履修制度の内容及び申請に係る詳細（申請期間、申請できる学年等）は、各学部により異なるので、事前に入學を希望する学部の担当部署へ照会すること。

○長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により標準修業年限では修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるものです。

長期履修を認められた者は、通常の標準修業年限において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものとします。

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 家事、育児、介護等に従事している者
- ③ 障がいのある者
- ④ その他相当の事由があると認められる者

【各学部照会先一覧】

学 部 (学 科)	電 話 番 号	担 当 部 署	
多文化社会学部	095-819-2030	人 文 社 会 科 学 域 事 務 部	多文化・教育学事務課（多文化）
教 育 学 部	095-819-2266		多文化・教育学事務課（教育）
経 済 学 部	095-820-6311		経 済 学 事 務 課
医 学 部 医 学 科	095-819-7010	生 命 医 科 学 域 ・ 研 究 所 事 務 部	学 務 課
医学部保健学科	095-819-7909		歯 学 系 事 務 室
歯 学 部	095-819-7613		薬 学 系 事 務 室
薬 学 部	095-819-2416	総 合 生 産 科 学 域 事 務 部	学務課 情報担当
情報データ科学部	095-800-4190		学務課 工学担当
工 学 部	095-819-2490		学務課 環境担当
環 境 科 学 部	095-819-2715		学務課 水産担当
水 産 学 部	095-819-2796		

12. 受験票の印刷

- (1) 受験票は、多文化社会学部は令和8年11月4日（水）、その他の学部は令和9年1月5日（火）の11時頃にインターネット出願システム上で印刷が可能となる（出願無資格者は印刷できない。）。

※上記期日から1日経過しても受験票が印刷できない場合は、速やかに長崎大学入試課へ連絡すること。（連絡先：TEL 095-819-2113）

- (2) インターネット出願システムの申込確認画面から、整理番号とセキュリティコードを入力し、**受験票を各自で印刷して試験当日持参**すること。

印刷の際は必ず **A4 サイズでカラー印刷（書き込み不可）** すること。

アドレス <https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/>

13. 「日本留学試験」に関する問い合わせ先

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

TEL. 03-6407-7457 FAX. 03-6407-7462

E-Mail: jasso_eju@jasso.go.jp URL: <https://www.jasso.go.jp>

14. 外国人留学生選抜に関する問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町 1 番 14 号 長崎大学学生支援部入試課 TEL 095-819-2113

15. 試験日時・試験場

学部名等			試験日	試 験 科 目	時 間 (注5)	試験場
多文化社会学部			11月11日 (水)	面接	10:00～	多文化社会学部
教育学部	小学校教育コース		2月26日 (金)	面接	9:00～11:00予定	教育学部
	中学校教育コース	文 系	2月25日 (木)	外国語 地理歴史 国語 } から1 (注1)	9:20～11:00(外国語)	
					12:30～14:10(地理歴史)	
					15:40～17:20(国語)	
			2月26日 (金)	面接	9:00～11:00予定	
	理 系	2月25日 (木)	数学 理科 } から1 (注2)	12:30～14:40(数学)		
				15:40～17:00(理科)		
			2月26日 (金)	面接	9:00～11:00予定	
	実技系	2月25日 (木)	実技検査(体育)	14:40～18:00予定		
		2月26日 (金)	面接	9:00～11:00予定		
幼児教育コース		2月26日 (金)	面接	9:00～11:00予定		
特別支援教育コース		2月26日 (金)	面接	9:00～11:00予定		
経 済 学 部			1月26日 (火)	小論文	10:00～11:00	経済学部
				面接	12:30～	
医学部	医 学 科	2月25日 (木)	外国語	9:20～11:00	(注3)	
			数学	12:30～14:40		
			理科	15:40～18:20		
			2月26日 (金)	面接	9:00～11:00予定	医 学 科
	保 健 学 科	2月25日 (木)	外国語	9:20～11:00	歯 学 部 (注4)	
面接			12:30～			
歯 学 部			2月25日 (木)	外国語	9:20～11:00	(注3)
				数学	12:30～14:40	
				理科	15:40～17:00	
				面接	教科試験終了後	
薬 学 部			2月25日 (木)	外国語	9:20～11:00	薬 学 部
				数学	12:30～14:40	
				理科	15:40～17:00	
				面接	教科試験終了後	
情報データ科学部	A(一般枠) B(推薦枠)		1月26日 (火)	小テスト (筆記試験)	10:00～11:30	情報データ科学部
				面接(口述試験を含む。)	13:00～17:00予定	
	C(国際バカロレア枠)			面接(口述試験を含む。)	10:00～17:00予定	
工 学 部			1月27日 (水)	面接(口述試験を含む。)	9:30～	工 学 部
環 境 科 学 部			1月27日 (水)	小論文	10:00～11:00	環境科学部
				面接	12:30～	
水 産 学 部			1月29日 (金)	面接	10:00～	水産学部

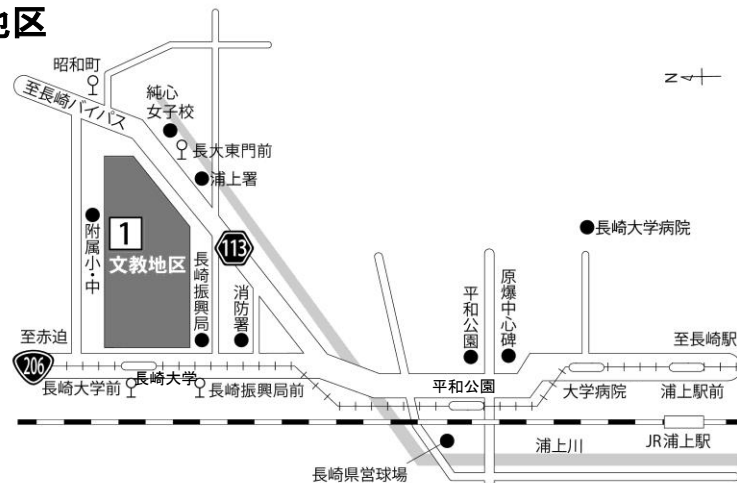
- 注1) 国語、地理歴史(「地理総合、地理探究」, 「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」から1科目)及び外国語の3教科から1教科を選択。複数教科を受験することもできる。複数教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する(出願後の選択・変更は不可)。
- 2) 数学及び理科の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は高得点の教科を採用する。
- 3) 医学部医学科及び歯学部は、坂本キャンパスに学部の建物があるが、試験は文教キャンパスの建物で実施する。
[医学部医学科の2日目の面接は、坂本キャンパスで実施]
- 4) 医学部保健学科の試験は、医歯薬学総合教育研究棟(歯学部本館)で実施する。
- 5) 受験者は、試験開始の30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。
面接の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。

16. 試験会場までの交通機関

志望学部	試験会場	交 通 機 関	
多文化社会学部 教育学部 医学部(医学科) 歯学部 薬学部 情報データ科学部 工学部 環境科学部 水産学部	1 長崎大学文教地区 (長崎市文教町 1番14号)	JR 長崎駅 か ら	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		JR 浦上駅 か ら	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「浦上駅前」から1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		長崎空港 か ら	・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「長大東門前」下車(約45分)
経済学部	2 長崎大学片淵地区 (長崎市片淵 4丁目2番1号)	JR 長崎駅 か ら	・路面電車利用 「長崎駅前」から「蛍茶屋」行きで「諏訪神社」又は「新大工町」下車, 徒歩約15分 ・バス利用(県営バス) 「長崎駅前東口」から「循環」,「立山・浜平」,「西山台団地」,「西山木場」行きで「経済学部前」下車
		長崎空港 か ら	・バス利用 ①(長崎バス, 県営バス: 中央橋まで)「長崎空港5番のりば」から「長崎方面(出島道路経由)」行きで「中央橋」下車(約45分) →(県営バス: 中央橋から)「循環」,「立山・浜平」,「西山台団地」,「西山木場」行きに乗り換えて「経済学部前」下車 ②(県営バス: JR長崎駅まで)「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「長崎駅前ターミナル」下車(約60分), その後は上記JR長崎駅から同様
医学部 (医学科) (2/26のみ)	3 長崎大学坂本地区 (医学科) (長崎市坂本 1丁目12番4号)	JR 長崎駅 か ら	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「原爆資料館」下車, 徒歩約10分 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から「下大橋(江平高部経由)」行きで「医学部前」下車
		JR 浦上駅 か ら	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「原爆資料館」下車, 徒歩約10分
		長崎空港 か ら	・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「平和公園」下車(約50分), 徒歩約15分
医学部 (保健学科)	4 長崎大学坂本地区 (医歯薬学総合教育 研究棟(歯学部本館)) (長崎市坂本 1丁目7番1号)	JR 長崎駅 か ら	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車, 徒歩約10分 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から「下大橋(江平高部経由)」行きで「大学病院前」又は「坂本町」下車
		JR 浦上駅 か ら	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車, 徒歩約10分
		長崎空港 か ら	・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「浦上駅前」下車(約55分), その後は上記JR浦上駅と同様

試験場案内略図

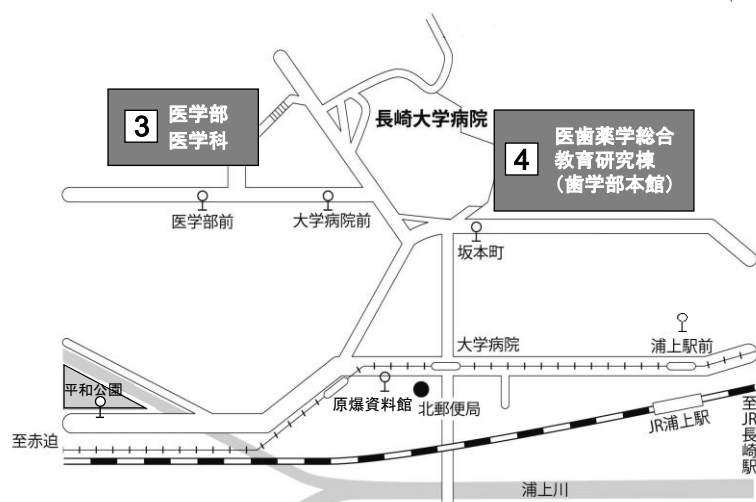
文教地区



片淵地区



坂本地区



※医学部保健学科の試験は医歯薬学総合教育研究棟（歯学部本館）で実施する。

17. 受験に際しての注意事項

- (1) 受験学部の実験日の前日午後（13時～17時）に試験室を確認しておくこと。ただし、試験室への入室はできない。ただし、教育学部受験者は2月24日（水）13時～17時に試験室を確認しておくこと。
- (2) 詳細については**受験票印刷開始日以降に本学ホームページに掲載することがある。**
- (3) 試験当日は、「**長崎大学入学試験受験票（外国人留学生選抜）（出願者が各自A4サイズでカラー印刷すること。書き込み不可）**」及び「**日本留学試験受験票（情報データ科学部B（推薦枠）及びC（国際バカロレア枠）を除く。）**」を必ず持参すること。
- (4) 試験当日は、**身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））を必ず持参すること。**不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがある。
- (5) 受験者は、**試験開始の30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。**面接の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。
- (6) 試験開始後30分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、試験時間の延長はない。
30分を超えた遅刻者には受験を認めない。ただし、面接については、指定された集合時間に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。
- (7) 試験中は、本学の受験票及び日本留学試験受験票（情報データ科学部B（推薦枠）及びC（国際バカロレア枠）を除く。）を机の通路側上に置くこと。
- (8) 机の上には、受験票、日本留学試験受験票（情報データ科学部B（推薦枠）及びC（国際バカロレア枠）を除く。）、黒鉛筆、シャープペンシル（シャープペンシルの芯は可（ケースは不可））、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類は不可。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可、線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）及び目薬以外の所持品を置いてはいけない。
- (9) 筆記試験においては、「始め」の合図があった後、解答用紙に氏名及び受験番号を記入し、解答を始めること。
- (10) 試験室では監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合は、不正行為となることがある。
また、試験時間中に用があるときは手を挙げること。
- (11) 試験中の退室はできない。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めるが、試験時間の延長は行わない。
- (12) 解答用紙を持ち帰ってはならない。
- (13) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類はアラーム等を解除し、電源を切り、かばん等に入れ、使用しないこと。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っていると、不正行為となることがある。
なお、通信機能のある電子機器類は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となる（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）。また、イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となる。
- (14) 不正行為を行った受験者については、それ以降の受験はできない。また、受験した試験の全ての成績は無効とする。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合がある。
- (15) 正門付近などで、勧誘や資料の配布が行われている場合があるが、本学とは一切関係がないので注意すること。
- (16) 受験者は、気象状況・交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。
- (17) 疾病・負傷又は試験場に向かう途中の事故等による追試験は実施しないが、所定の日程による試験実施が困難となるような次の①～③の不測の事態が発生した場合は、再試験を実施することがあるので、試験当日の長崎大学ホームページ（<https://www.nagasaki-u.ac.jp>）で詳細について確認すること。
 - ① 定期運行している交通機関の事故又は災害等で、相当の数の受験者に係るもの
 - ② 試験開始後の不測の事態
 - ③ 大規模の災害等
- (18) 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合があるので、使用できない。
- (19) 自動車、バイク等での試験場内への乗り入れを禁止する。
また、近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。
- (20) 試験時間中に日常生活騒音等（監督者の巡視による足音・業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行わない。

18. 不正行為について

- ① 次のことをすると**不正行為**となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験の全ての（教科・科目）の成績を無効とします。

ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ク 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）を使用すること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となる。（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）

※イヤホンは、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となる。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要である。）

ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると**不正行為となることがあります**。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や電子機器類（電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となる。（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

- ③ 本学が入学選抜において取り扱う受験票その他の書類について、記載内容の改ざん、書き換え又は不正使用が認められた場合は、不正行為として取り扱い、当該受験者の受験資格の取消し又は合格の取消し等の措置を講じることがあります。

また、当該行為が法令に抵触するおそれがあると本学が判断した場合には、業務妨害等として関係機関へ相談することがあります。

19. 合格通知書の発送

合格者には、「合格通知書」をレターパックプラス（対面で届けられ、受領印又は署名が必要な郵便※）又は EMS で下記の期日に発送する。

なお、不合格者への通知はしない（電話による可否の照会には応じない。）。

ただし、参考として、長崎大学ホームページ (<https://www.nagasaki-u.ac.jp>) に各発送日の 11 時に合格者受験番号を掲載する（掲示による合格者発表は行わない。）。

【合格通知書の発送日】

学 部	合格通知書発送日	学 部	合格通知書発送日
多文化社会学部	令和 8 年 12 月 1 日 (火)	教 育 学 部	令和 9 年 3 月 8 日 (月)
経 済 学 部	令和 9 年 2 月 10 日 (水)	医 学 部	
情報データ科学部		歯 学 部	
工 学 部		薬 学 部	
環 境 科 学 部			
水 産 学 部			

※ 不在の場合はポスト等に「不在票」が投かんされるので、担当郵便局へ再配達依頼等の連絡を必ず行うこと。

20. 入学手続等

合格した者は、下記により入学手続を行うこと。詳細については、合格者に別途通知する。

(1) 手続期日（学部により異なるので注意すること。）

【合格通知書受領後から下記の手続期日（16 時必着）まで】

学 部	入学手続期日	学 部	入学手続期日
多文化社会学部	令和 8 年 12 月 11 日 (金) 16 時必着 (持参不可)	教 育 学 部	令和 9 年 3 月 15 日 (月) 16 時必着 (持参不可)
経 済 学 部	令和 9 年 2 月 19 日 (金) 16 時必着 (持参不可)	医 学 部	
情報データ科学部		歯 学 部	
工 学 部		薬 学 部	
環 境 科 学 部			
水 産 学 部			

注) 郵送のみ可（持参による手続きは行わないため、郵便事情を考慮し、余裕をもって郵送すること。なお、上記期日までに入学手続書類が到着しなかった場合は、入学を辞退したものと取り扱う。）

(2) 必要書類の提出

- ① 令和 9 年度長崎大学入学試験受験票（外国人留学生選抜）
- ② 誓約書、その他の書類（別途送付）

(3) 納付金の納入

入 学 料 282,000 円

(注) 別途送付する「入学手続案内」の記載に従い、所定の方法により、入学手続時までに振り込むこと。既納の入学料は返還しない。

参考

1. 令和 8 年度授業料（年額）535,800 円（前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）
2. 授業料の納入時期は、前期分 4 月、後期分 10 月になる。
3. 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
4. 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続関係書類で通知する。

なお、授業料免除については、学部外国人留学生の授業料免除申請者のうち、5 割以上の学生が免除を受けている。

21. 学生寮に関するご案内

長崎大学では、学生寮に関する最新情報を大学公式 Web サイトにてご案内しています。
入居条件・申込方法・募集時期などの詳細については、以下の 2 次元バーコードからご確認ください。

●国際学寮ホルテンシア



お問い合わせ先（土日祝日を除く）
長崎大学学生支援センター（学生
支援課生活支援担当）
TEL 095-819-2103

●Uni E' terna 長崎文教 グローバルハウス



お問い合わせ先（土日祝日を除く）
UniLife 長崎店
（株式会社ジェイ・エス・ビー・
ネットワーク）
電話番号は HP からご確認ください

●提携学生会館ドーミー （食事付・家具家電付） ・ドーミー長崎平和公園 ・ドーミー長崎新大工町



お問い合わせ先
株式会社共立メンテナンス
九州支店
TEL：0120-88-4921

22. 個人情報の取扱

（１）個人情報の利用

- ① 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。
また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- ② 出願書類により取得された高等学校等の成績は、奨学生への推薦資料に利用する。
- ③ 出願書類により取得された高等学校等の成績及び入学試験の成績（日本留学試験の成績を含む）は、入学料免除等及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。
- ④ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- ⑤ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、個人情報の保護に関する法律に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

（２）個人情報に関する業務の委託について

出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、個人情報の適切な取扱いに関する契約等を締結した上で、データ登録業務を外部の事業者へ委託することがある。

23. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については、36 ページの「各学部照会先一覧」まで問い合わせること。

24. 入試情報の提供

（１）個人成績

個人成績については、インターネット出願時における希望の有無により開示します。出願期間後のメール、電話等による請求は受け付けませんのでご注意ください。

- ① 請求方法
インターネット出願時の個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。
- ② 開示内容
本学が実施する学力等検査の得点及び順位
- ③ 開示期間
令和 9 年 6 月 1 日（火）から 6 月 30 日（水）

- ④ 開示請求者
受験者本人に限ります。
- ⑤ 開示手数料
1 回の出願につき開示請求手数料 6 0 0 円が必要です。入学検定料と併せて支払ってください。
- ⑥ 閲覧方法
長崎大学ホームページ(入試情報サイト)から個人成績開示システムへ進んでください。
<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/grades/>
「氏名(フリガナ)」、「受験番号」、インターネット出願時の「セキュリティコード」を入力すると閲覧できます。
出願期間から開示期間までは、かなりの期間がありますので「受験番号」及び「セキュリティコード」の管理には注意してください。

(2) 採点・評価基準

採点・評価基準については、本要項の 45 ページ及び 46 ページに記載しています。

(3) 合否判定基準

合否判定基準については、本要項の 47 ページ及び 48 ページに記載しています。

(4) 過去 3 年間の入試状況

過去 3 年間の入試状況については、本要項の 49 ページに記載しています。

(5) 過去 5 年間の合格者の日本留学試験の成績

過去 5 年間の合格者の日本留学試験の成績については、本要項の 50 ページに記載しています。

(2) 採点・評価基準

学 部 名 ・ 教 科 名			採 点 ・ 評 価 基 準		
多 文 化 社 会 学 部			面 接 (個 人)	日本語及び英語により実施し、提出された書類（TOEFL 等の成績）、日本留学試験の成績を参考に、日本語運用能力並びに志望動機、勉学意欲、思考力、英語能力等を総合的に判断する。	
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 コ ー ス	面 接 (個 人)	志望理由、学修・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。	
		中 学 校 教 育 コ ー ス	文 系	国 語	高等学校までの国語科（現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、古典探求の範囲）の知識、読解力、思考力及び言語表現能力を評価する。
				地理歴史	「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」のそれぞれに関する知識、考察力、記述力等に加え、共通論述問題に関しては理解力、論理的思考力をも評価する。
				外国語	P 46 下部 ※ 外国語の欄を参照。
				面 接 (個 人)	教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
			理 系	数 学	P 46 下部 ※ 数学の欄を参照。
		理 科		P 46 下部 ※ 理科の欄を参照。	
		面 接 (個 人)		教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
		実 技 系	実技検査 (体育)	出題する領域のスポーツや運動に関する基礎的及び応用的な実践能力と技能を評価する。	
			面 接 (個 人)	教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
		幼 児 教 育 コ ー ス		面 接 (個 人)	志望理由、学修・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス		面 接 (個 人)	志望理由、学修・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。
経 済 学 部			小論文	基礎的学力、論理的思考力、コミュニケーション力等を評価する。	
			面 接 (個 人)	修了（見込）証明書、成績証明書、TOEFL iBT (Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。) 又は TOEIC L&R のスコア等を参考に、コミュニケーション力、学習意欲、主体性、行動力等を評価する。評価は点数化する。	
医 学 部 (医 学 科)			数 学	P 46 下部 ※ 数学の欄を参照。	
			理 科	P 46 下部 ※ 理科の欄を参照。	
			外国語	P 46 下部 ※ 外国語の欄を参照。	
			面 接 (個 人)	応用力（問題解決力）、意欲（積極性）、協調性及び総合能力を評価する。	
医 学 部 (保 健 学 科)			外国語	P 46 下部 ※ 外国語の欄を参照。	
			面 接 (個 人)	志望動機、勉学意欲、将来展望、コミュニケーション能力等を評価する。評価は点数化する。	
歯 学 部			数 学	P 46 下部 ※ 数学の欄を参照。	
			理 科	P 46 下部 ※ 理科の欄を参照。	
			外国語	P 46 下部 ※ 外国語の欄を参照。	
			面 接 (個 人)	アドミッション・ポリシーに基づき、志望動機、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、協調性等を総合的に判断する。評価は点数化する。	

学 部 名 ・ 教 科 名		採 点 ・ 評 価 基 準	
薬 学 部 (薬 学 科) (薬 科 学 科)	数 学	P 46 下部 ※ 数学の欄を参照。	
	理 科	P 46 下部 ※ 理科の欄を参照。	
	外国語	P 46 下部 ※ 外国語の欄を参照。	
	面 接 (個 人)	複数の面接員が行い、薬学に対する志望動機及び理由，論理性，意欲，科学的知識，適性等を評価する。評価は点数化する。	
情 報 デ ー タ 科 学 部	A（一般枠）	小テスト (筆記試験)	高等学校程度の数学（特に代数，微積分，確率・統計）を出題し基礎学力を評価する。
		面 接 (個 人) (口述試験を含む)	複数の面接員により行う。英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
	B（推薦枠）	小テスト (筆記試験)	高等学校程度の数学（特に代数，微積分，確率・統計）を出題し基礎学力を評価する。
		面 接 (個 人) (口述試験を含む)	複数の面接員により行う。英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
		出願書類 (成績証明書，志望理由書)	高等学校(日本の高等学校に対応する学校のもの)の成績証明書の学業成績及び志望理由書を点数化する。
	C（国際バカロレア枠）	面 接 (個 人) (口述試験を含む)	複数の面接員により行う。英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
		出願書類 (成績評価証明書，志望理由書)	IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書の学業成績及び志望理由を点数化する。
	工 学 部	面 接 (個 人) (口述試験等を含む)	複数の面接員により行い，英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。ただし，英語能力については TOEFL iBT（Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。）又は TOEIC L&R のスコア等を参考にする。
環 境 科 学 部	小論文	課題に対する理解力，考察力等並びに日本語による記述力，表現力等を評価し点数化する。	
	面 接 (個 人)	日本語の会話能力並びに環境への関心度，意欲・積極性，思考力，英語能力等を評価し点数化する。	
水 産 学 部	面 接 (個 人)	複数の面接員により行う。提出された書類（TOEFL iBT（Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。）又は TOEIC L&R の成績等），日本留学試験の成績を含め，志望動機，学部への関心，将来展望等についての質疑応答を行い，総合的に評価する。	

※ 教育学部、医学部、歯学部及び薬学部の数学、理科及び外国語に係る採点・評価基準は下表のとおりである。

教科名		採点・評価基準
数 学		数学の基礎を理解し、応用する力を測る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。
理 科	物 理	物理現象に関する思考力・考察力・表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
	化 学	基礎的な学習の到達度とともに、科学的な思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
	生 物	生物学についての思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
	地 学 (教育学部のみ)	自然科学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
外 国 語		読解力、表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。

(3) 合否判定基準

学部名		合 否 判 定 基 準
多文化社会学部		(1) 面接の得点率が 50%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、日本留学試験と面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
教育学部		(1) 面接の得点率が 20%未満の者は不合格とする。 (2) 小学校教育コース、幼児教育コース及び特別支援教育コースは、(1)を除いた者の中から、日本留学試験の得点を参考に、面接の得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 中学校教育コースは、(1)を除いた者の中から、学力検査等と日本留学試験の総得点の高い順に合格者を決定する。 (4) 中学校教育コースにおいて、合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
経済学部		(1) 次のいずれかに該当する者は不合格とする。 (ア) 小論文の得点率が30%未満の者 (イ) 面接の得点率が40%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から、日本留学試験(100点)、小論文(40点)と面接(60点)の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 面接においては TOEFL iBT (Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。) 又は TOEIC L&R の成績も評価する。 (4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
医学部	医学科	(1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 (2) 学力検査(数学・理科・外国語)の総得点が、当該年度の一般選抜(前期日程)合格者の個別学力検査(数学・理科・外国語)の最低総得点未満の者は不合格とする。 (3) (1)、(2)を除いた者の中から、日本留学試験、学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。
	保健学科	(1) 日本留学試験、学力検査(外国語)及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ① 学力検査(外国語)の得点が上位の者 ② 面接の得点が上位の者
歯学部		(1) 次のいずれかに該当する者は不合格とする。 (ア) 日本留学試験(850点)及び個別学力検査(600点)の総得点の得点率が 80%未満の者 (イ) 面接の得点率が 50%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から、日本留学試験及び個別学力検査の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
薬学部		日本留学試験、学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。

学部名	合 否 判 定 基 準
情報データ科学部	【外国人留学生選抜 A（一般枠）】 (1) 以下のいずれかに該当する者は不合格とする。 （ア）日本留学試験（100点）、小テスト（100点）及び面接（口述試験を含む。）（100点）の総得点の得点率が60%未満の者 （イ）面接の得点率が33%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から日本留学試験、小テスト及び面接（口述試験を含む。）の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	【外国人留学生選抜 B（推薦枠）】 (1) 以下のいずれかに該当する者は不合格とする。 （ア）出願書類（成績証明書、志望理由書）（100点）、小テスト（100点）及び面接（口述試験を含む。）（100点）の総得点の得点率が60%未満の者 （イ）面接の得点率が33%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から、出願書類、小テスト及び面接（口述試験を含む。）の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	【外国人留学生選抜 C（国際バカロレア枠）】 (1) 面接の得点率が 33%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、出願書類（IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書、志望理由書）（100 点）及び面接（口述試験を含む。）（100 点）の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
工学部	(1) 日本留学試験と面接の総得点の得点率が 70%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、日本留学試験と面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
環境科学部	(1) 以下のいずれかに該当する者は不合格とする。 （ア）小論文の得点率が60%未満の者 （イ）面接の得点率が67%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から、日本留学試験、小論文及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
水産学部	(1) 面接の得点率が 70%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、日本留学試験の成績を参考に、面接の得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 面接においては TOEFL iBT（Home Edition を除く。Test Date スコアに限る。）又は TOEIC L&R の成績も評価する。 (4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

(4) 過去3年間の入試状況

①令和6年度

学部・学科等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会 教育 経済	多文化社会	若干人	4	4	3	2
	教育	若干人	1	0	0	0
	経済	若干人	11	9	9	7
	医学科	若干人	0	0	0	0
	保健学科	若干人	0	0	0	0
医学	歯学	若干人	0	0	0	0
	薬学科	若干人	1	0	0	0
	薬科学科	若干人	0	0	0	0
情報 データ	A (一般枠)	5	16	12	5	2
	B (推薦枠)	5	6	6	5	5
	C (国際バカロレア枠)	若干人	0	0	0	0
工学	機械工学コース	若干人	3	2	1	1
	電気電子工学コース	若干人	2	2	1	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	0	0	0	0
	化学・物質工学コース	若干人	3	3	2	1
	小計		8	7	4	2
環境		8	17	10	8	7
水産		若干人	3	2	1	1
合 計			67	50	35	26

②令和7年度

学部・学科等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会 教育 経済	多文化社会	若干人	4	4	4	2
	教育	若干人	1	1	0	0
	経済	若干人	25	12	3	2
	医学科	若干人	0	0	0	0
	保健学科	若干人	0	0	0	0
医学	歯学	若干人	2	0	0	0
	薬学科	若干人	0	0	0	0
	薬科学科	若干人	0	0	0	0
情報 データ	A (一般枠)	5	7	5	2	2
	B (推薦枠)	5	3	2	2	2
	C (国際バカロレア枠)	若干人	0	0	0	0
工学	機械工学コース	若干人	5	2	2	2
	電気電子工学コース	若干人	5	2	1	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	0	0	0	0
	化学・物質工学コース	若干人	3	2	0	0
	小計		13	6	3	2
環境		8	13	8	6	3
水産		若干人	6	4	2	2
合 計			74	42	22	15

③令和8年度

学部・学科等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会 教育 経済	多文化社会	若干人	7	6	2	2
	教育	若干人	1	0	0	0
	経済	若干人	17	7	5	1
	医学科	若干人	1	0	0	0
	保健学科	若干人	0	0	0	0
医学	歯学	若干人	1	0	0	0
	薬学科	若干人	3	1	0	0
	薬科学科	若干人	1	0	0	0
情報 データ	A (一般枠)	5	14	7	5	4
	B (推薦枠)	5	3	3	1	1
	C (国際バカロレア枠)	若干人	0	0	0	0
工学	機械工学コース	若干人	7	2	2	1
	電気電子工学コース	若干人	7	3	1	1
	社会環境デザイン工学コース	若干人	2	2	1	1
	化学・物質工学コース	若干人	3	2	2	2
	小計		19	9	6	5
環境		8	14	6	2	2
水産		若干人	5	2	0	0
合 計			86	41	21	15

（５）過去５年間の合格者の日本留学試験の成績

令和４年度から令和８年度までの外国人留学生選抜の合格者について、日本留学試験の成績（素点）の合計は次のとおりです。出願を検討する際の目安としてください。

学部・学科等	集計人数	最高点	最低点	平均点
多文化社会学部	15	724	566	640.3
教育学部	1	*	*	*
経済学部	23	701	524	632.0
医学部 医学科	0	—	—	—
医学部 保健学科	0	—	—	—
歯学部	0	—	—	—
薬学部 薬学科	0	—	—	—
薬学部 薬科学科	0	—	—	—
情報データ学部 A（一般枠）	24	685	509	599.9
情報データ学部 B（推薦枠）	—	—	—	—
情報データ学部 C（国際バカロレア枠）	—	—	—	—
工学部	17	662	524	591.0
環境科学部	25	685	444	585.6
水産学部	4	*	*	615.5
合計	109			

（注）

- 「素点の合計」とは、日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解及び記述），総合科目又は理科，及び数学の得点を合計したものです（８５０点満点）。得点の等化前の素点です。
- 学部・学科等により，指定する教科・科目，配点及び換算方法は異なります。この合計点をそのまま合否の判定に用いているものではありません。
- 「集計人数」は，合格者のうち，日本語，総合科目又は理科及び数学のすべての成績が確認できた者の数です。このため，４９ページ（４）の合格者数とは一致しません。
- 情報データ科学部の外国人留学生選抜B（推薦枠）及びC（国際バカロレア枠）では，日本留学試験を課していません。
- 合格者数が少ない学部・学科等については，個人が特定されるおそれがあるため，「*」として最高点及び最低点を掲載していません。
- ここに示す数値は過去の実績であり，将来の合否を保証するものではありません。

25. パソコン必携制度のご案内

◆ はじめに

パソコン必携制度は、ICT を活用したアクティブラーニングを行うための施策の一つであり、授業の進捗に応じて様々な学修体験を得ること、授業外においても授業中と同等な ICT 環境を利用できるようにすることを目的としています。また、学生生活や就職活動を見据え、所有する機器を使いこなす ICT スキル(生産性ツールの利活用、セキュリティ管理、さまざまなデバイスとの接続、クラウドの利用等)の涵養もその目的としております。

新入生の皆様には、大学へノートパソコンを持参して、ノートパソコンを利活用した様々な学修を行っていただきます。

◆ 必携パソコンについて

◆ 令和 9 年度必携パソコンの基本仕様は、令和 8 年 10 月頃、長崎大学ホームページの「受験生の入試情報サイト」でお知らせする予定です。情報リテラシー入門などの情報系の授業を始め、多くの授業は基本仕様を前提としています。すでに Microsoft Office(Web 版ではない)が十分な速度で動作するノートパソコン(メモリ:8GB、ディスク:SSD)をお持ちの場合、まずはそのノートパソコンをご持参ください。なお、昨年度の基本仕様は以下のページで案内しております。

◆ <https://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/pcsetup/spec.html#spec>

◆ 入学後、お持ちのノートパソコンで対応できない状況が生じたら、基本仕様を満たす機種への買い換えをご検討ください。新たにノートパソコンを購入する場合は、基本仕様を満たす機種をご購入ください。

◆ なお、基本仕様に関する情報は、長崎大学 ICT 基盤センターウェブサイトの「必携パソコンサポート」(※1)に順次掲載いたします。

<https://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/pcsetup/> (※1)

◆ ノートパソコンを購入(準備)できない方

経済的理由により購入ができない方のために、ノートパソコンを大学より貸与します。貸与は、学費負担者の収入が一定の基準を満たす方に対して行います。

長崎大学公式ホームページの「教育・学生生活」(※2)をご覧ください。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/life/money/Personalcomputer/index.html> (※2)

ノートパソコン必携化に関する問い合わせ窓口

長崎大学 ICT 基盤センター・情報企画課(平日:9時~17時)

E-MAIL: pc_support@gl.nagasaki-u.ac.jp

26. 出願書類作成上の注意事項

- (1) ボールペン(黒)による自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。
- (2) 太線枠内の該当するものは、すべて記入すること。
- (3) ※欄は、記入しないこと(本学で記入する。)
- (4) 志望した学部・学科・コース等、選択科目及び日本留学試験の成績利用希望の受験年・受験月を出願後に変更することは一切認めない。

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないこと

日本留学試験チェックシート

氏名	アルファベット	志望学部	志望学科等
	カタカナ	学部	学科 専攻 コース
母国語 (例:中国語, 韓国語など)			

- *1 志望する学部・学科の欄に掲げる日本留学試験の教科・科目のうち、受験したもの（するもの）について、右端のチェック欄の『□』を黒く（例：■）塗りつぶす。
- *2 志望する学部・学科が指定する教科・科目を受験していないと、出願することができないので、十分注意すること。

学部等		教科・科目等	成績利用の方法	出題教科・科目		出題言語 指 定	受験した教科・科目 に☑を入れる	
多文化社会学部			令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月実施分の いずれか1回分の成績	日 本 語		日本語のみ	☐	
				総合科目		日本語・英語の どちらでも良い	☐	
				数 学	コース 1	日本語・英語の どちらでも良い	☐	
教育学部	小学校教育コース 中学校教育コース (文系及び実技系) 幼児教育コース 特別支援教育コース	令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語			日本語のみ	☐	
			総合科目			日 本 語	☐	
			数 学	コース 1		日 本 語	☐	
	中学校教育コース (理系)				日 本 語		日本語のみ	☐
					理 科	物理, 化学, 生物から 2科目を選択	日 本 語	物理 ☐ 化学 ☐ 生物 ☐
					数 学	コース 2		日 本 語
経済学部		令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語		日本語のみ	☐		
			総合科目		日 本 語	☐		
			数 学	コース 1		日 本 語	☐	
医学部	医 学 科	令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語			日本語のみ	☐	
			理 科	化学, 生物	日本語・英語の どちらでも良い	化学 ☐ 生物 ☐		
	保 健 学 科		数 学	コース 2	日本語・英語の どちらでも良い	☐		
			理 科	化学, 生物から 1 科目 を選択	日本語・英語の どちらでも良い	化学 ☐ 生物 ☐		
歯 学 部		令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語		日本語のみ	☐		
			理 科	物理, 化学, 生物から 2科目を選択	日本語・英語の どちらでも良い	物理 ☐ 化学 ☐ 生物 ☐		
			数 学	コース 2	日本語・英語の どちらでも良い	☐		
薬 学 部		令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語		化学	日本語のみ	☐	
			理 科	物理, 化学, 生物から 1 科目 を選択	日本語・英語の どちらでも良い	化学 ☐ 物理 ☐ 生物 ☐		
			数 学	コース 2	日本語・英語の どちらでも良い	☐		
情報データ科学部 A (一般枠) のみ		令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語			日本語のみ	☐	
			理 科	物理, 化学, 生物から 1科目を選択	日本語・英語の どちらでも良い	物理 ☐ 化学 ☐ 生物 ☐		
			数 学	コース 2	日本語・英語の どちらでも良い	☐		
工 学 部		令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語			日本語のみ	☐	
			理 科	物理, 化学	日本語・英語の どちらでも良い	物理 ☐ 化学 ☐		
			数 学	コース 2	日本語・英語の どちらでも良い	☐		
環境科学部	文系受験	令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語			日本語のみ	☐	
			総合科目			日 本 語	☐	
			数 学	コース 1 又は コース 2	日 本 語	コース 1 ☐ コース 2 ☐		
	理系受験				日 本 語		日本語のみ	☐
					理 科	物理, 化学, 生物から 2科目を選択	日 本 語	物理 ☐ 化学 ☐ 生物 ☐
					数 学	コース 1 又は コース 2	日 本 語	コース 1 ☐ コース 2 ☐
水 産 学 部		令和7年6月若しくは11月 又は令和8年6月若しくは 11月実施分のいずれか1 回分の成績	日 本 語			日本語のみ	☐	
			理 科	物理, 化学, 生物から 2科目を選択	日 本 語	物理 ☐ 化学 ☐ 生物 ☐		
			数 学	コース 1 又は コース 2	日 本 語	コース 1 ☐ コース 2 ☐		

(情報データ科学部B(推薦枠)の志願者のみ)

受 験 番 号
※

※欄は記入しないこと。

推 薦 書

長 崎 大 学 長 殿

作成日(西暦)		年 月 日
推 薦 者	氏 名	
	職 位	
	勤 務 先 電 話 番 号	

下記の者を、貴大学外国人留学生選抜学生募集要項に基づき、情報データ科学部に責任をもって推薦いたします。

フリガナ		生 年 月 日 (西暦)
氏 名		年 月 日
推 薦 理 由		

記入欄は裏面へ続く

推薦者署名（自筆）	

推 薦 書 記 入 上 の 注 意

1. 推薦書の記入にあたってパソコン等を使用される場合は，本学HP掲載の所定の様式をダウンロードし，この用紙の枠内に入力すること。
2. 推薦理由については，単なる概評ではなくできるだけ具体的事実をあげて記入すること。

(情報データ科学部B (推薦枠) 及びC (国際バカロレア枠) の
志願者のみ)

受 験 番 号
※

※欄は記入しないこと。

志 望 理 由 書

(西暦) 年 月 日

長 崎 大 学 長 殿

フリガナ

氏 名 _____

生年月日 (西暦) 年 月 日

選抜区分 (○で囲んでください)	B (推薦枠)
	C (国際バカロレア枠)

私は、貴大学情報データ科学部に入学を希望しますので、ここに志望理由書を提出します。

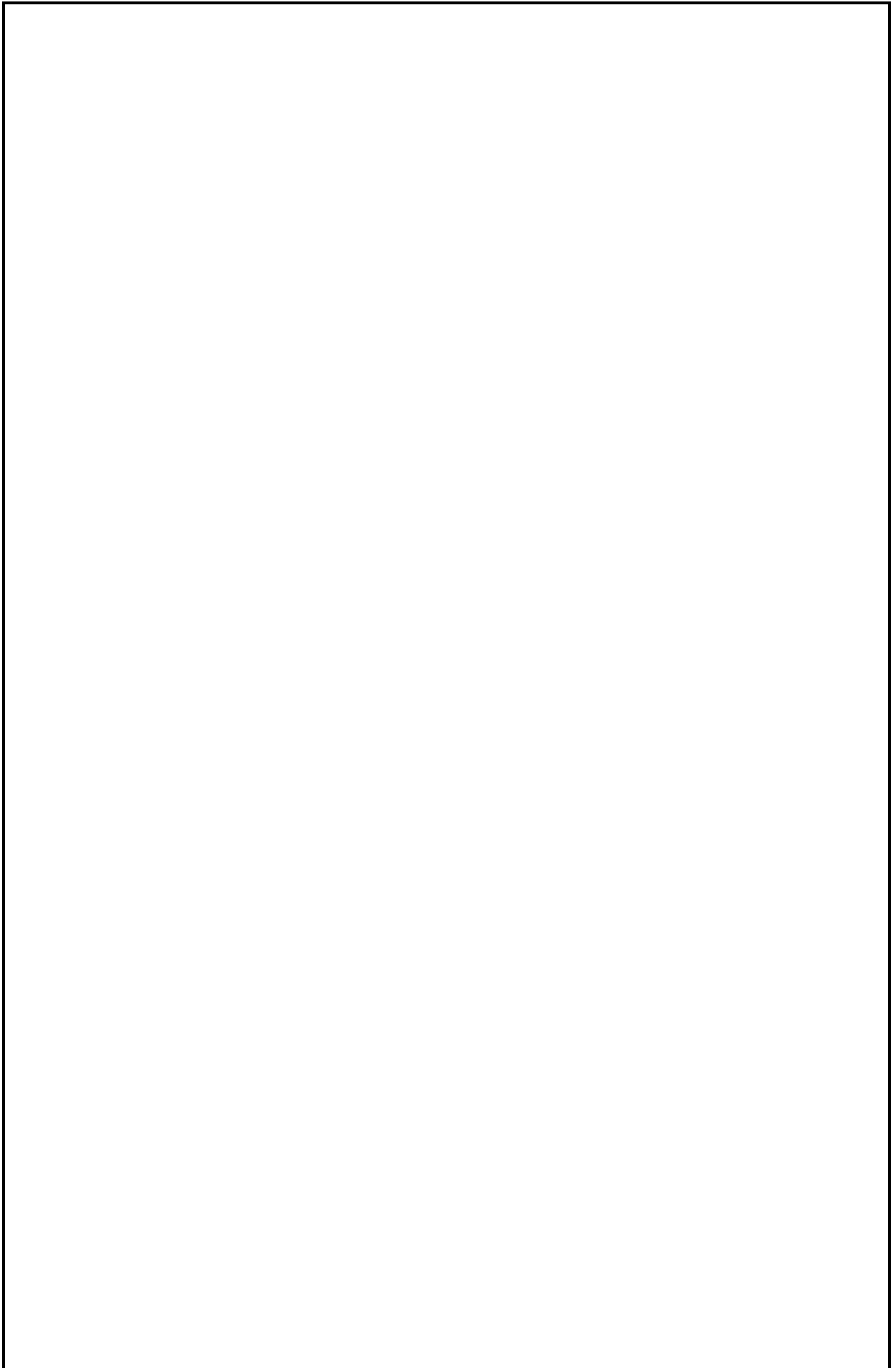
(注意事項)

1. この用紙の枠内におさめること。
2. ①自筆で作成する場合は、ボールペン（黒）を使用し、楷書で丁寧に記入すること。
②パソコン等で作成する場合は、本学HP掲載の所定の様式をダウンロードし、入力すること。
3. ページ数は2ページ以内（A4・両面印刷1枚）とすること。

志望理由（希望の動機及び入学後に学びたいこと）

--

記入欄は裏面へ続く



外国人留学生選抜以外の 募集要項 公表時期

一 般 選 抜 学 生 募 集 要 項 (11 月 下 旬 発 表)	※ 左記の時期に下記のURLに募集要項を掲載いたします。 (掲載先URL) https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/selection/
学 校 推 薦 型 選 抜 学 生 募 集 要 項 (9 月 上 旬 発 表)	※ 冊子等の紙媒体での配布等はいたしません。 出願書類準備の際は、各自で印刷しご準備ください。
社 会 人 選 抜 学 生 募 集 要 項 (9 月 上 旬 発 表)	※お問い合わせ先 〒 852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学学生支援部入試課 TEL.095-819-2111 FAX.095-819-2112